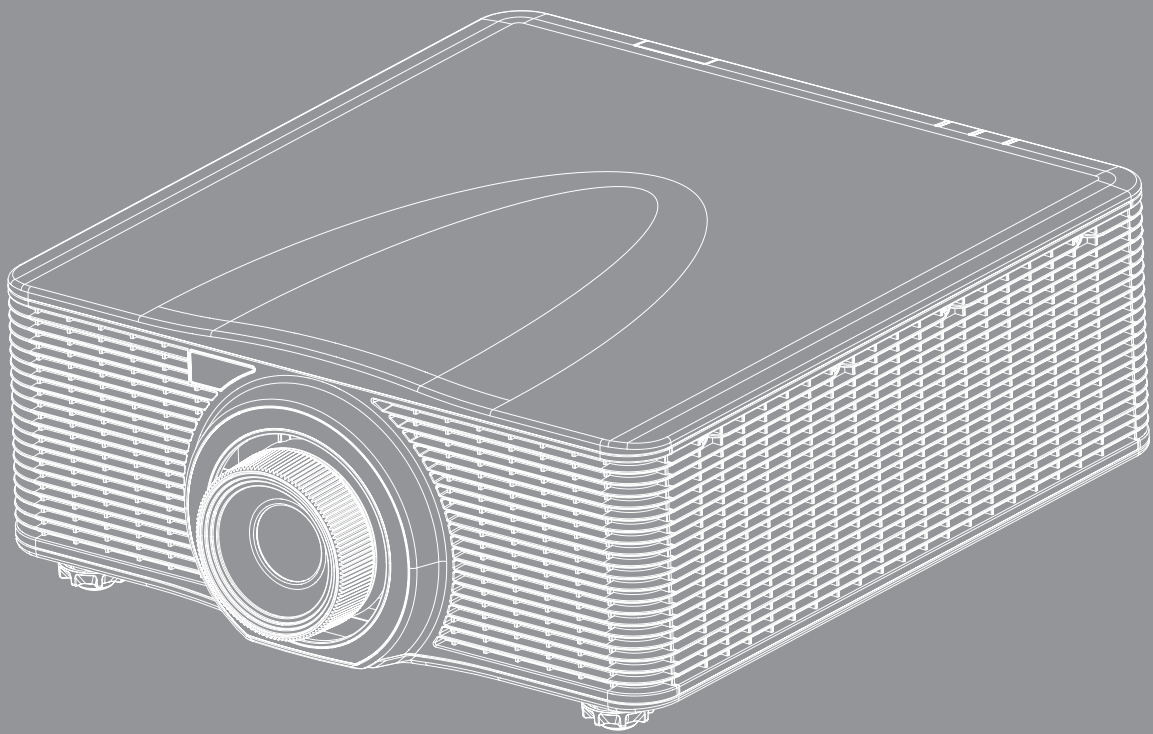




DLP® プロジェクター





目次

安全にお使いいただくために	5
大切な安全に関する指示	5
レーザー放射安全に関する情報	6
著作権	7
免責条項	7
商標認識	7
FCC	7
EU諸国に対する適合宣言	8
WEEE	8
はじめに	9
パッケージ内容	9
標準アクセサリ	9
オプションのアクセサリ	9
製品の各部名称	10
接続	11
キーパッド	12
リモコン	13
設定と設置	14
投影レンズの取り付け	14
プロジェクターの位置を調整する	16
ソースをプロジェクターに接続する	17
投射画像の調整	18
リモコンの準備	19
プロジェクターを使用する	21
プロジェクターの電源を入れる/切る	21
入力ソースを選択する	22
メニューナビゲーションと機能	23
OSD メニューツリー	24
ピクチャーメニュー	31
スクリーンメニュー	35
設定メニュー	40
光源メニュー	41
オプションメニュー	42
3D メニュー	44
通信メニュー	45
設定のネットワーク: コントロール設定メニュー	47

追加情報 52

対応解像度.....	52
イメージサイズと投射距離.....	55
プロジェクターの寸法と天井取り付け.....	57
IR リモートコード.....	58
故障かなと思ったら.....	60
警告インジケータ.....	61
仕様.....	62
Optoma 社グローバルオフィス.....	63

安全にお使いいただくために

	正三角形内部の矢印の付いた稲妻は、製品の筐体内部に感電の恐れのある、絶縁されていない [危険な電圧] が相当な規模 で存在していることをユーザーに警告するものです。
	正三角形内部の感嘆符は、機器に付属するマニュアルに、重要な操作およびメンテナンス(修理点検法など)に関する指示があることをユーザーに警告するものです。

このユーザーズガイドで推奨されたすべての警告、安全上のご注意およびメンテナンスの指示に従ってください。

大切な安全に関する指示

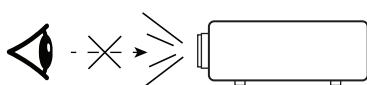
- 換気孔を塞がないでください。プロジェクタの安全な操作を確保するために、また過熱から保護するために、換気を妨害しない場所にプロジェクタを設置することをお勧めします。飲み物等が置かれたコーヒータブルや、ソファ、ベッドにプロジェクタを置かないでください。また、本棚、戸棚など風通しの悪い狭い場所に置かないでください。
- 火災およびまたは感電の原因となるため、プロジェクタを雨や湿気にさらさないようにしてください。ラジエータ、ヒーター、ストーブまたは熱を発生するその他の機器(アンプを含む)など、熱源の傍に取り付けしないでください。
- プロジェクタに物体または液体を入れないでください。これらは、火災または感電の原因となる危険な電圧ポイントに触れたり、または、部品をショートさせたりする可能性があります。
- 以下のような環境下では使用しないでください。
 - 極度に暑い環境、寒い環境あるいは湿度の高い環境。
 - (i) 室温が 5°C~40°C の範囲に保たれていることを確認します
 - (ii) 相対湿度は10%~85%の範囲です
 - 大量のほこりや汚れにさらされる場所。
 - 強い磁場を生成する機器の近く。
 - 直射日光の当たる場所。
- 可燃性ガスや爆発性ガスが空気中に含まれる可能性がある場所でプロジェクターを使用しないでください。プロジェクターの使用時、中のランプが高温になり、ガスが発火し、火災が発生することがあります。
- 物理的に損傷したり、または、誤用されている場合は、使用しないでください。物理的な損傷/誤用とは次の通りです(ただし、これらには限定されません):
 - 装置が落下した。
 - 電源装置のコードまたはプラグが損傷した。
 - プロジェクタの上に液体をこぼした。
 - プロジェクタを雨または湿気にさらした。
 - プロジェクタの内部に何かを落としたり、または、内部で何かが緩んでいる。
- 不安定な場所にプロジェクターを置かないでください。プロジェクターが落下して壊れたり、人身事故を起こす可能性があります。
- プロジェクターの使用時、プロジェクターのレンズから発せられる光を遮断しないでください。光が物体を暖め、溶解、火傷、火災などを引き起こす恐れがあります。
- プロジェクターのカバーを外したり、本体を分解したりしないでください。感電する恐れがあります。
- お客様自身でこの装置を修理しないでください。カバーを開けたり取り外したりすると、危険な電圧やその他の危険にさらされます。本機を修理に出す前に、Optoma にお電話ください。
- 安全に関係するマーキングについては、プロジェクタの筐体をご覧ください。
- 認定サービス担当者のみ装置の修理を依頼する必要があります。
- 製造元の指定する付属品/アクセサリのみを使用してください。
- プロジェクターの使用時、プロジェクターのレンズを直視しないでください。強力な光線により、視力障害を引き起こす恐れがあります。
- 本プロジェクターは、ランプの寿命を自動的に検知します。

- プロジェクターの電源を切るときは、冷却サイクルが完了したことを確認してから、電源コードを抜いてください。プロジェクターの温度が下がるまで 90 秒間待機してください。
- 製品を清掃する前に、電源をオフにし、ACコンセントから電源プラグを抜いてください。
- ディスプレー筐体は、中性洗剤を軽く湿らせた柔らかい乾いた布で拭いてください。本体を研磨材入りクリーナー、ワックス、溶剤などでお手入れしないでください。
- 本製品を長時間使用しない場合は、電源プラグをACコンセントから抜いてください。
- 振動や衝撃を受けるような場所にプロジェクターを設置しないでください。
- レンズを素手で触らないでください。
- 保管前にリモコンから電池を取り外してください。長期間、電池がリモコンに入っていると、液漏れが発生する恐れがあります。
- 石油または煙草からの煙が存在する可能性がある場所でプロジェクターを使用または保管しないでください。プロジェクターの性能が低下する可能性があります。
- プロジェクターは正しい向きで設置してください。標準的な設置方法でなければ、プロジェクターの性能が低下する可能性があります。
- 電源ストリップ、および/または、サージプロテクタを使用してください。停電または電圧低下により装置が破損する恐れがあります。

レーザー放射安全に関する情報

本製品は、IEC 60825-1: 2014 のクラス 1 レーザー製品 - リスクグループ 2 として分類され、リスク 2 グループとして、21 CFR 1040.10 および 1040.11、並びに、2007 年 6 月 24 日付レーザー通告第 50 号に基づく偏差を除いて IEC 62471:2006 において定義される LIP (レーザーイルミネーションプロジェクター) に準拠しています。

- 米国市場の場合のみ、FDA ガイダンス文書 1400056、2015 年 2 月 18 日付のレーザー照明プロジェクター (LIP) の分類および要件に基づき、米国で販売されるすべてのレンズは、レーザークラス 1-RG 2 に分類されます。
米国市場で販売されるレンズ: A01、A03、A06、A15、A16
- 他のすべての市場の場合、IEC 62471-5:2015 ランプおよびランプシステムの光生物学的安全性 - 第 5 部: 画像プロジェクターに基づき、販売されるすべてのレンズは、レーザークラス 1-RG2 に分類されます。
他の市場で販売されるレンズ: A01、A03、A06、A13、A15、A16



クラス 1 レーザー製品 - リスクグループ 2。ライトが点灯しているときは、プロジェクターのレンズを見ないでください。恒久的な眼の損傷が発生する可能性があります。



以下に従わないと、死亡または重傷を負う可能性があります。

- 本プロジェクターには、クラス 4 レーザーモジュールが組み込まれています。プロジェクターの分解または改造を絶対に行わないでください。
- ユーザーマニュアルで具体的に指示されていない操作や調整を行うと、危険なレーザー光線にさらされる危険を引き起こします。
- 壊れたり、レーザー光線にさらされたりする可能性があるため、プロジェクターを開けたり分解したりしないでください。
- プロジェクターがオンになっているとき、光線を見つめないでください。強力な光線により、視力障害を引き起こされる恐れがあります。
- プロジェクターをオンにする際は、投影範囲内にレンズをのぞき込んでいる人がいないことを確認してください。
- レーザー放射の暴露による損傷や怪我を避けるために、制御、調整、または操作手順に従ってください。
- 組立、操作、および保守のための指示には、危険なレーザー放射への暴露の可能性を避けるための予防措置に関する明確な警告が含まれます。

著作権

この出版物は、すべての写真、イラスト、ソフトウェアを含め、著作権に関する国際法の下で保護され、無断複写・転載が禁じられます。このマニュアルもこの中に含まれるいかなる素材も作者の書面による同意なしで複製することはできません。

© Copyright 2018

免責条項

本書の情報は、将来予告なしに変更することがあります。製造者は本書の内容についていかなる表明も保証もせず、特に、商品性または特定目的の適合性について、いかなる暗黙的保証も否定します。製造者は本出版物を改訂し、その内容を折に触れて変更する権利を留保します。ここで、かかる改訂または変更を通知する義務は製造者にはないものとします。

商標認識

Kensington は ACCO Brand Corporation の米国登録商標であり、世界中の他国で登録され、あるいは登録申請中になっています。

HDMI、HDMI ロゴ、High-Definition Multimedia Interface は米国とその他の国における HDMI Licensing LLC の商標または登録商標です。

DLP®、DLP Link、DLP ロゴは、Texas Instruments の登録商標です。BrilliantColor™ は、Texas Instruments の商標です。

HDBaseT™ および HDBaseT Alliance ロゴは、HDBaseT Alliance の商標です。

本書に記載されているその他すべての製品名はそれぞれの所有者の財産であり、認知されています。

FCC

本装置は、FCC基準パート15に準ずるClass Aのデジタル電子機器の制限事項に準拠しています。これらの制限事項は、住宅地域で使用した場合に生じる可能性のある電磁障害を規制するために制定されたものです。本装置は高周波エネルギーを生成し使用しています。また、高周波エネルギーを放射する可能性があるため、指示に従って正しく設置しなかった場合は、無線通信に障害を及ぼす可能性があります。

しかしながら、特定の設置状況においては電波障害を起こさないという保証はありません。本装置の電源を切ったり入れたりすることにより、本装置がラジオやテレビ受信に有害な干渉をもたらしていることが確認できる場合は、下記の手順で改善を試みてください：

- 受信アンテナの方向または設置位置を変える。
- 本装置と受信機の距離を離す。
- 本装置と受信機の電源系列を別の回路にする。
- 販売店やラジオビデオの専門技術者に問い合わせる。

通知: シールドされたケーブル

他のコンピュータ装置へのすべての接続には、FCC規制に準拠するためにシールドされたケーブルを使用する必要があります。

注意

本装置に対しメーカーが明確に認定していない変更や修正を加えると、連邦通信委員会で許可されているユーザー権限が無効になることがあります。

運転状況

本製品はFCC規則パート15に準拠しています。操作は次の2つの条件に規制されます:

1. 電波障害を起こさないこと、
2. 誤動作の原因となる電波障害を含む、受信されたすべての電波障害に対して正常に動作すること。

通知: カナダのユーザー

このクラス A デジタル機器はカナダ ICES-003 に準拠しています。

Remarque à l'intention des utilisateurs canadiens

Cet appareil numérique de la classe A est conforme à la norme NMB-003 du Canada.

EU諸国に対する適合宣言

- EMC 指令 2014/30/EU (修正案を含む)
- 低電圧指令 2014/35/EU
- 無線機器指令 2014/53/EU (製品に RF 機能がある場合)
- RoHS 指令 2011/65/EU

WEEE



廃棄に関する指示

この電子デバイスを処分するとき、ごみ箱に捨てないでください。汚染を最小限に抑え地球環境を最大限に保護するため、この製品をリサイクルしてください。

はじめに

パッケージ内容

慎重に箱から取り出し、下の [標準付属品] に記載されている品目が揃っていることを確認します。オプションの付属品については、モデル、仕様、購入地域によっては入っていない場合があります。購入場所で確認してください。地域によっては付属品が異なる場合があります。

保証書は一部の地域でのみ同封されます。詳細については、販売店にお問い合わせください。

標準アクセサリ



オプションのアクセサリ

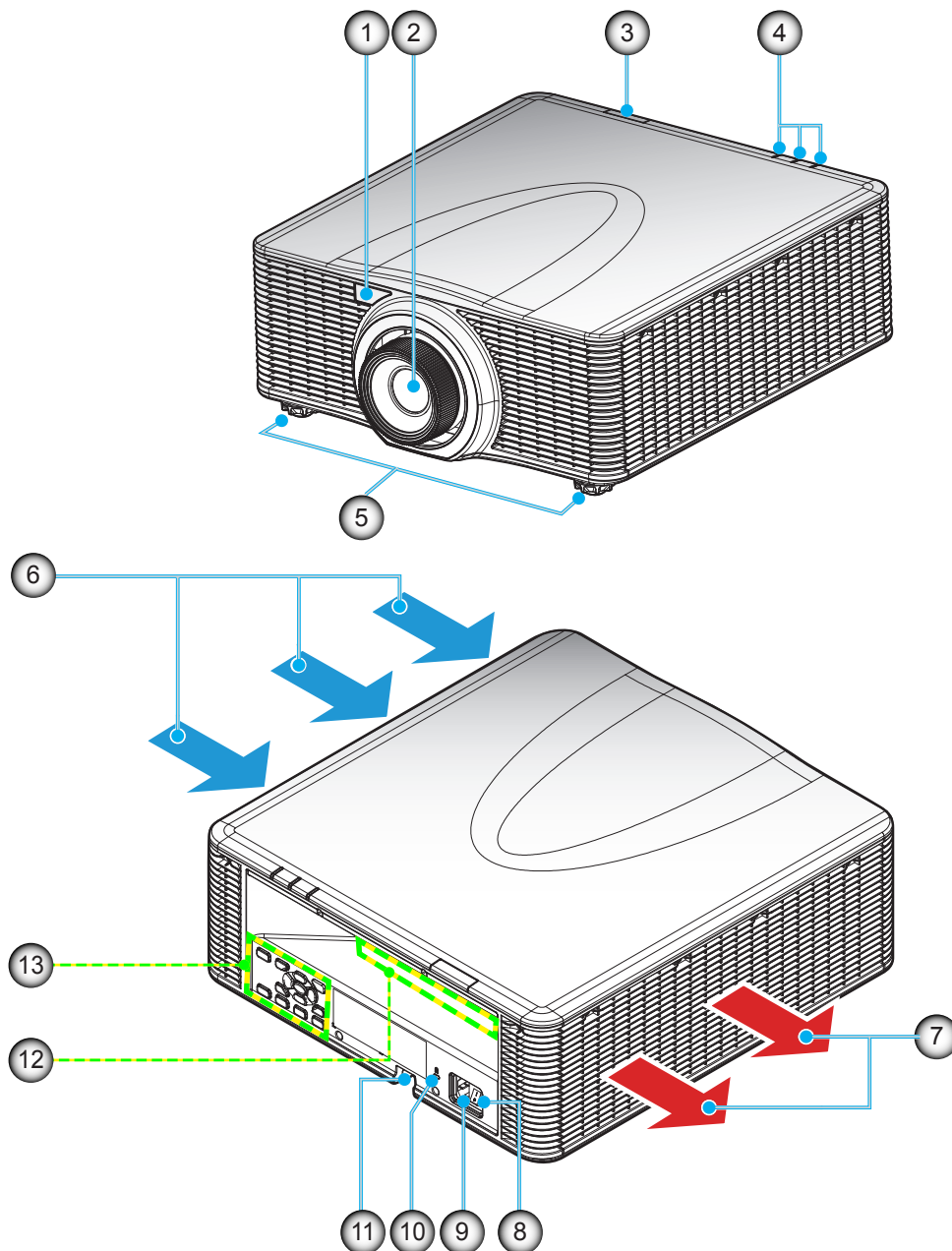


注:

- オプションのアクセサリは、モデル、仕様、地域によって異なります。
- * A01、A03 および A13 レンズの場合。

はじめに

製品の各部名称

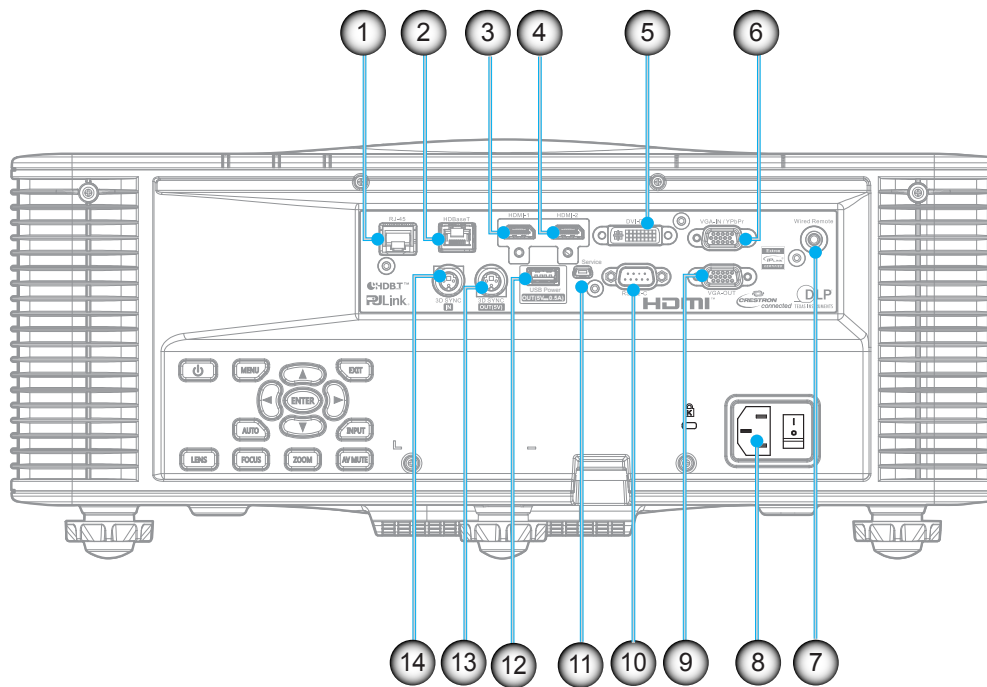


注: プロジェクタの吸気口または排気口を塞がないでください。
(* オプションのアクセサリは、モデル、仕様、地域によって異なります。

番号	項目	番号	項目
1.	正面赤外線受光部	8.	パワースイッチ
2.	レンズ	9.	電源ソケット
3.	上部赤外線レーザー	10.	Kensington™ ロック ポート
4.	LEDステータスインジケータ	11.	セキュリティバー
5.	チルト調整フット	12.	入/出力
6.	換気口 (入口)	13.	キーパッド
7.	換気口 (出口)		

はじめに

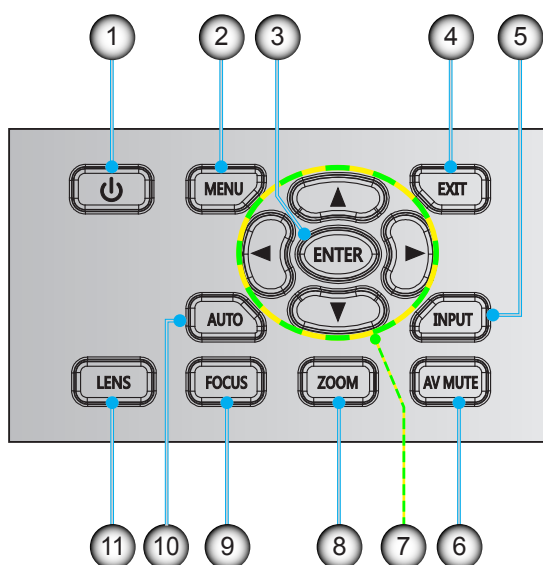
接続



番号	項目	番号	項目
1.	LAN 端子	8.	電源ソケット
2.	HDBaseT 端子	9.	VGA 出力端子
3.	HDMI-1 端子	10.	RS232-C 端子
4.	HDMI-2 端子	11.	Mini USB (サービス)
5.	DVI-D 端子	12.	USB タイプ A (電源出力 5V、0.5A)
6.	VGA 入力/YPbPr コネクタ	13.	3D 同期出力 (5V)
7.	有線リモート端子	14.	3D 同期入力

はじめに

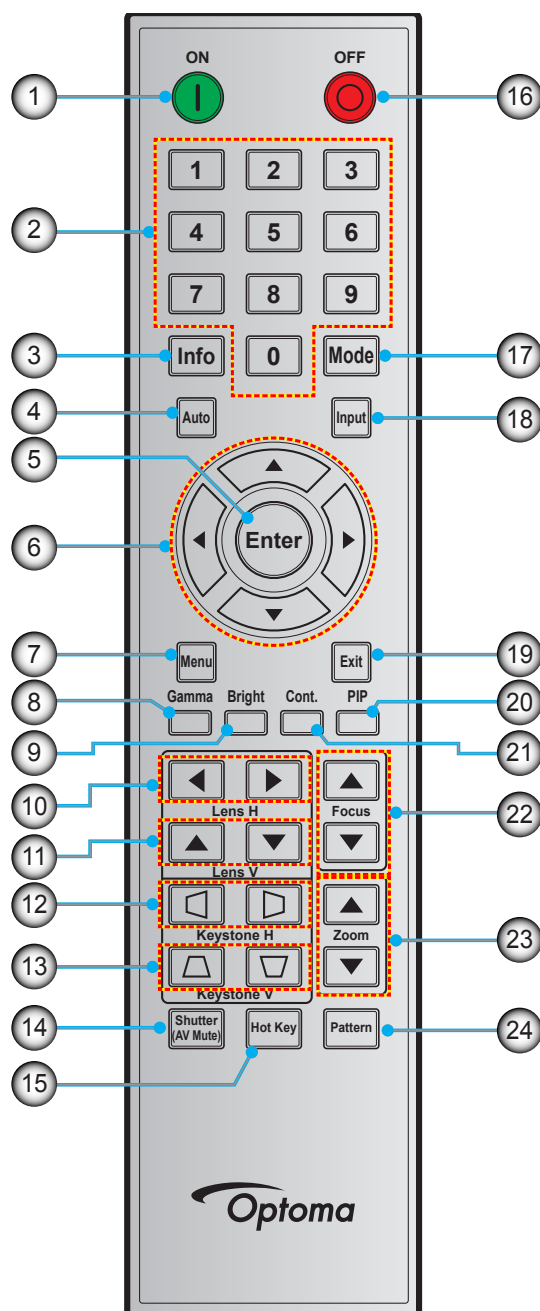
キーパッド



番号	項目	番号	項目
1.	電源	7.	4方向選択キー
2.	メニュー	8.	ズーム
3.	入力	9.	フォーカス
4.	終了	10.	自動
5.	入力	11.	レンズ
6.	AV ミュート		

はじめに

リモコン



番号	項目	番号	項目	番号	項目
1.	電源オン	9.	明るさ	17.	モード
2.	数字キー	10.	水平レンズ	18.	入力
3.	情報	11.	垂直レンズ	19.	終了
4.	自動	12.	水平キーストーン	20.	PIP
5.	入力	13.	垂直キーストーン	21.	Cont.
6.	4方向選択キー	14.	シャッター (AV ミュート)	22.	フォーカス
7.	メニュー	15.	ホットキー	23.	ズーム
8.	γ	16.	電源オフ	24.	パターン

設定と設置

投影レンズの取り付け

プロジェクタを設定する前に、投影レンズをプロジェクタに取り付けます。

在安装或替换镜头前，关掉投影机的电源。

在镜头安装联接过程中，避免使用遥控器或投影机按键板的按钮调节侧平移镜头或缩放/聚焦。

Before install or replacing the lens, switch off the power to the projector.

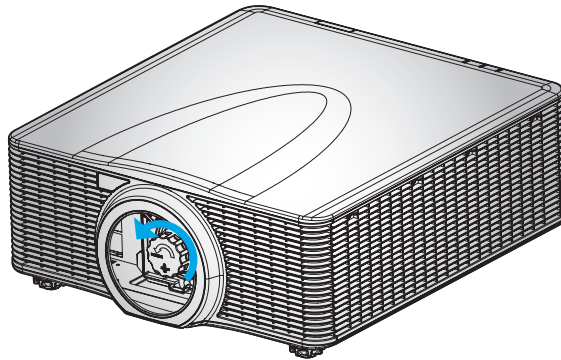
Avoid using the remote control or projector keypad button to adjust the lens shift or zoom/focus while the lens attachment process is carried out.

重要!

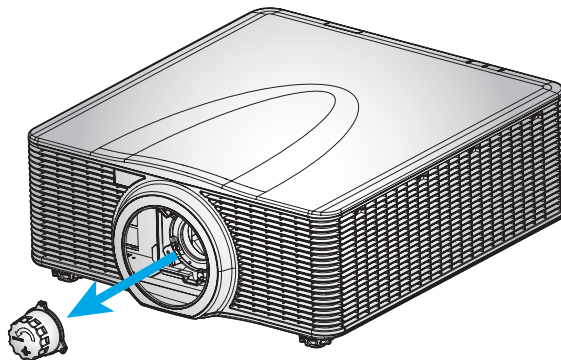
- レンズと取り付ける前に、必ず、プロジェクタを適切にオフに切り替えてください。
- レンズ取り付け中、リモコンまたはプロジェクタキーパッドを使用して、レンズシフト、ズーム、またはフォーカスを調整しないでください。

手順:

1. レンズキャップを反時計回りに回します。

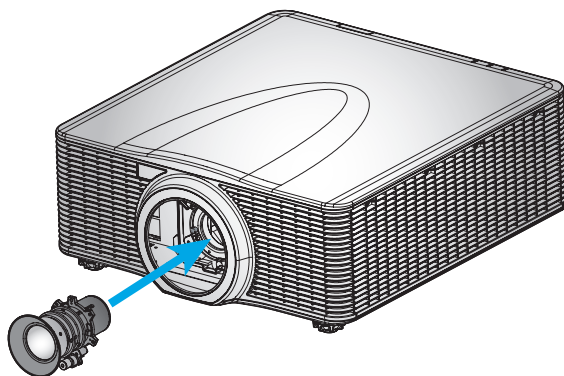


2. レンズキャップを取り外します。

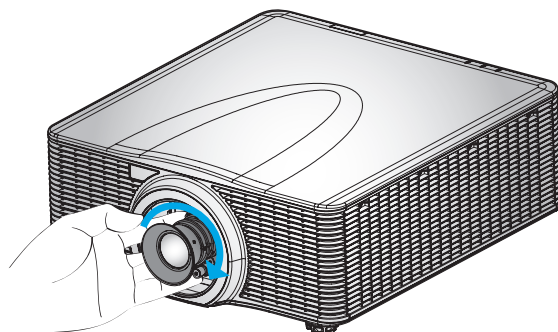


設定と設置

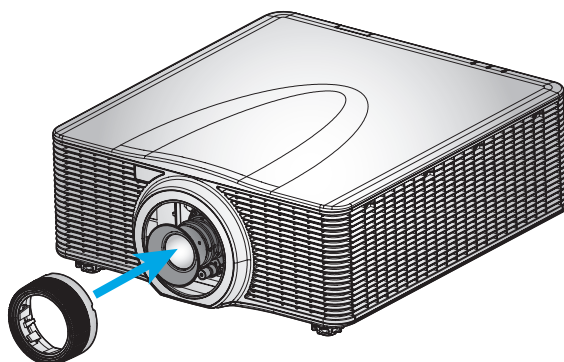
3. レンズをプロジェクタに取り付けます。



4. レンズを時計回りに回して、レンズを所定の位置にロックします。



5. レンズリングをレンズにしっかりと取り付けます。



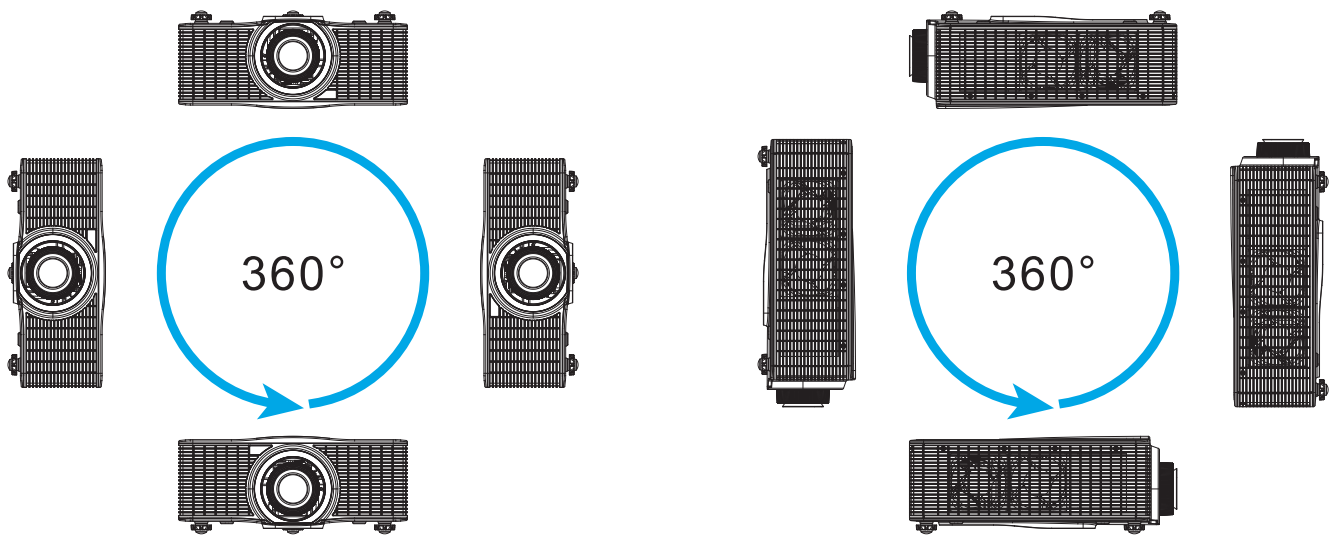
注: レンズリングは、次のレンズモジュールと互換性があります: A01 (0.95-1.22)、A03 (1.53-2.92)、A13 (2.90-5.50)。

設定と設置

プロジェクターの位置を調整する

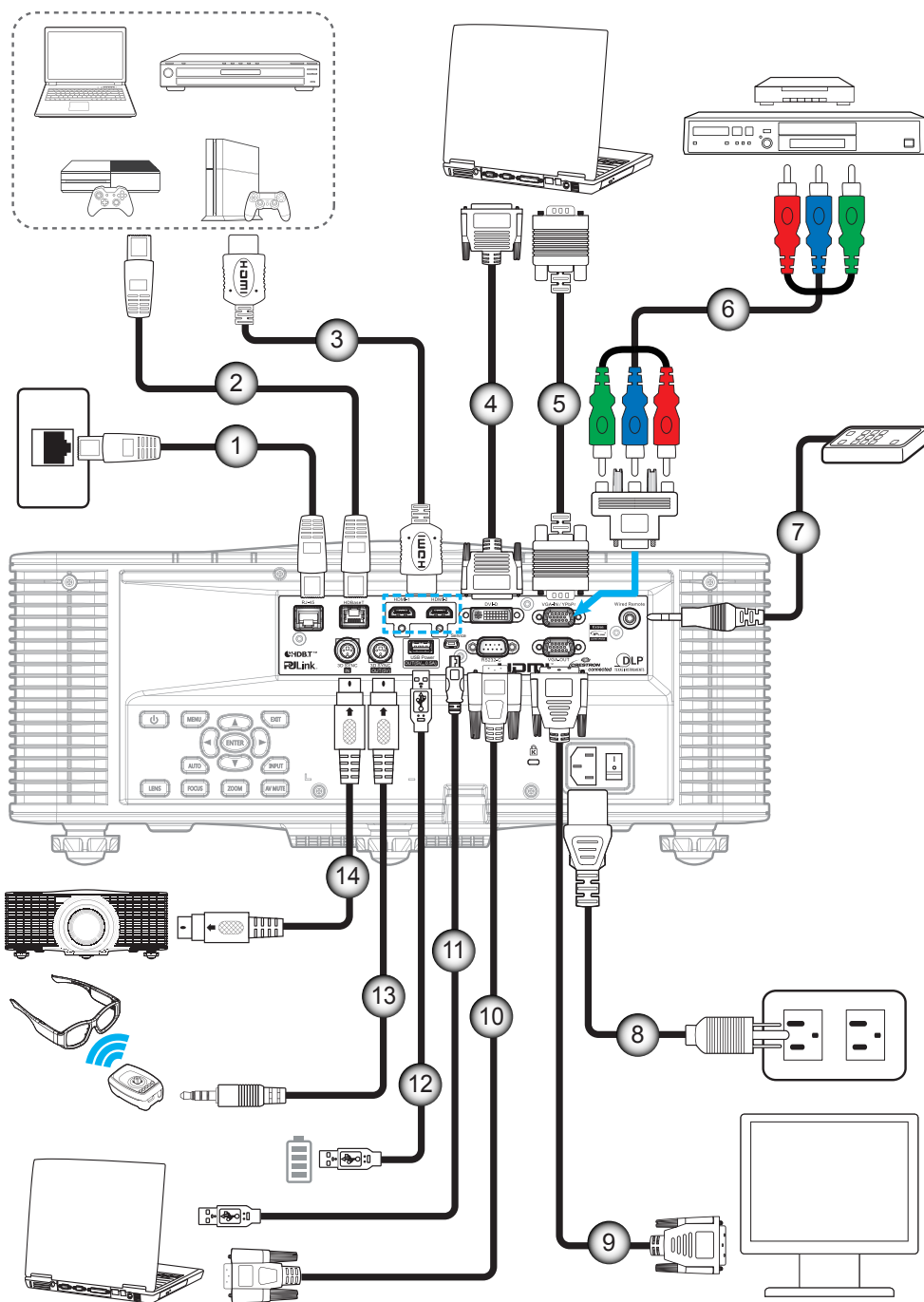
プロジェクターの位置は、スクリーンのサイズや形、電源コンセントの位置、およびプロジェクターとその他のデバイスとの距離に基づいて選択します。以下の一般ガイドラインに従ってください。

- プロジェクターは、画面に対して直角となる、表面が平らな場所に配置します。プロジェクター(標準レンズ搭載の場合)は、投写スクリーンから少なくとも1.3 m (4.3 フィート) 離します。
- プロジェクターをスクリーンに対して適切な位置に配置します。プロジェクターのレンズからスクリーンまでの距離、ズーム設定、そしてビデオ形式が、投写される画像のサイズを左右します。
- 固定短焦点レンズの場合、初期設定の角度で画像が出てあいますが、レンズシフト機能で画像のオフセットが変化します。
- 360 度フリー方向操作



設定と設置

ソースをプロジェクターに接続する



番号	項目	番号	項目
1.	RJ-45 ケーブル	8.	電源コード
2.	CAT5e/6/6A ケーブル	9.	VGA 出力ケーブル
3.	HDMIケーブル	10.	RS-232C ケーブル
4.	DVI-D ケーブル	11.	Mini USB ケーブル
5.	VGA 入力ケーブル	12.	USB タイプ A ケーブル (5V、0.5A)
6.	RCA コンポーネントケーブル	13.	3D エミッターケーブル
7.	有線リモコン入力ケーブル (約 30m)	14.	3D 同期ケーブル

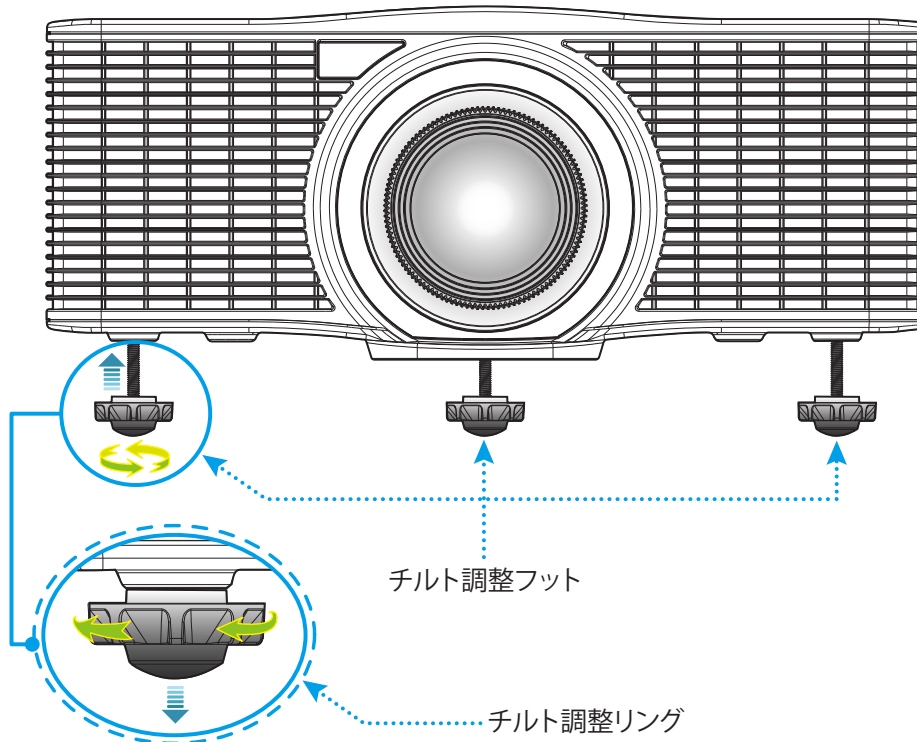
設定と設置

投射画像の調整

画像の高さ

本プロジェクターには、投写映像の高さを調整するためのエレベータフットがあります。

1. プロジェクターの底面の、変更したい調整フットを探します。
2. 調整可能な脚を時計方向/反時計方向に回してプロジェクターを上げ下げします。

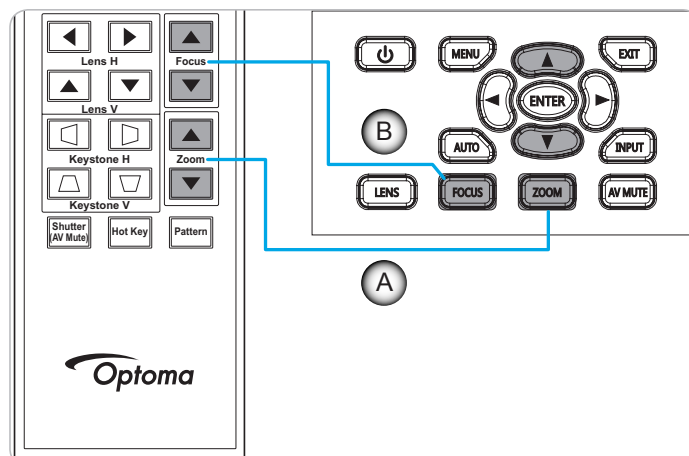


警告:

- プロジェクターのフットを取り外しできません。プロジェクターのフットを取り外さないでください。エレベータフットの高さ調整は、最大 45 mm 上昇させることができます。

ズームとフォーカス

- 画像の大きさを調整するには、**ズームボタン (A)** を押して、投射される画像の大きくまたは小さくします。
- フォーカスを調整するには、画像が鮮明になり、文字が読めるようになるまで、**フォーカスボタン (B)** を押します。



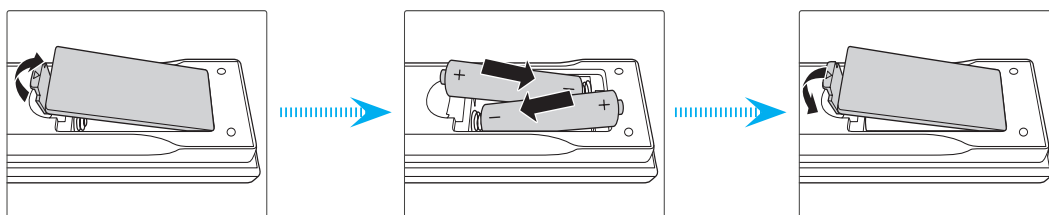
設定と設置

リモコンの準備

電池の取り付け/交換

リモコンには単 4 電池 2 本が付属しています。

1. リモコンの背面にある電池カバーを外します。
2. 図のように単 4 電池をバッテリーコンパートメントに挿入します。
3. リモコンのカバーを戻します。



注: 交換には同じ電池か同種の電池のみをご利用ください。

注意事項

電池の使い方が正しくないと、化学物質の漏れや爆発が起こる恐れがあります。必ず以下の指示に従ってください。

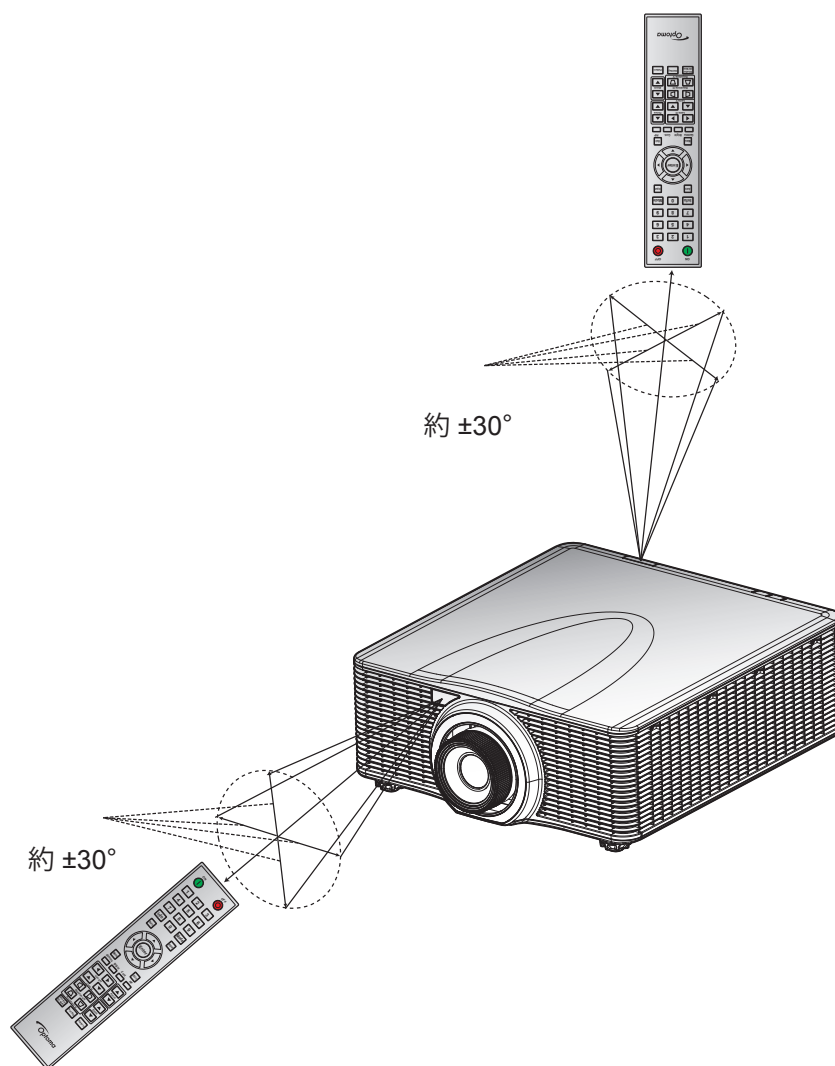
- 異なる種類の電池を混在させない。電池の種類によって特性が異なります。
- 古い電池と新しい電池を混在させない。古い電池と新しい電池を混在させると、新しい電池の寿命が短くなったり、古い電池から化学物質漏れが起こる恐れがあります。
- 使い切った電池はすぐに外してください。電池から漏れた化学物質が肌に触れると発疹が出る場合があります。化学物質漏れを発見した場合は、布で拭きとってください。
- 本製品に付属の電池は、保管状態により予想寿命が短いことがあります。
- 長時間リモコンを使用しない場合は、電池を取り外してください。
- 電池を廃棄する際は、必ず関連する地域や国の法律に従ってください。

有効範囲

赤外線 (IR) リモコンセンサーは、プロジェクターの前面および上面にあります。プロジェクターの IR リモコンセンサーに対して ± 30 度以内 (水平方向または垂直方向) の角度でリモコンを向けると正常に動作します。リモコンとセンサーの間の距離は 10 メートル (32.8 フィート) 以内にする必要があります。

- リモコンとプロジェクターの IR センサーの間に赤外線ビームを遮断するような障害物がないことを確認します。
- リモコンの IR 伝送装置に太陽や蛍光灯の光を直接当てないでください。
- リモコンは蛍光灯から 2 メートル以上離さないと誤作動が起こることがあります。
- リモコンがインバータータイプの蛍光灯に近いと、動作しないことがあります。
- リモコンとプロジェクターの距離が近いと、リモコンが動作しないことがあります。
- スクリーンに向けるときは、リモコンからスクリーンまでの有効距離が 5 メートル以内であれば、IR ビームが反射してプロジェクターに届きます。ただし、有効範囲はスクリーンによって変わることがあります。

設定と設置



リモコン ID の設定

リモコンで複数のプロジェクターを個別にアドレス指定することができます。プロジェクターの特定の ID コードを 1～99 に設定すると、プロジェクターは、同じ ID コードの IR リモコンにのみ応答します。ID コード 0 は、リモコンのデフォルト ID で、すべてのプロジェクターの制御に使用できます。

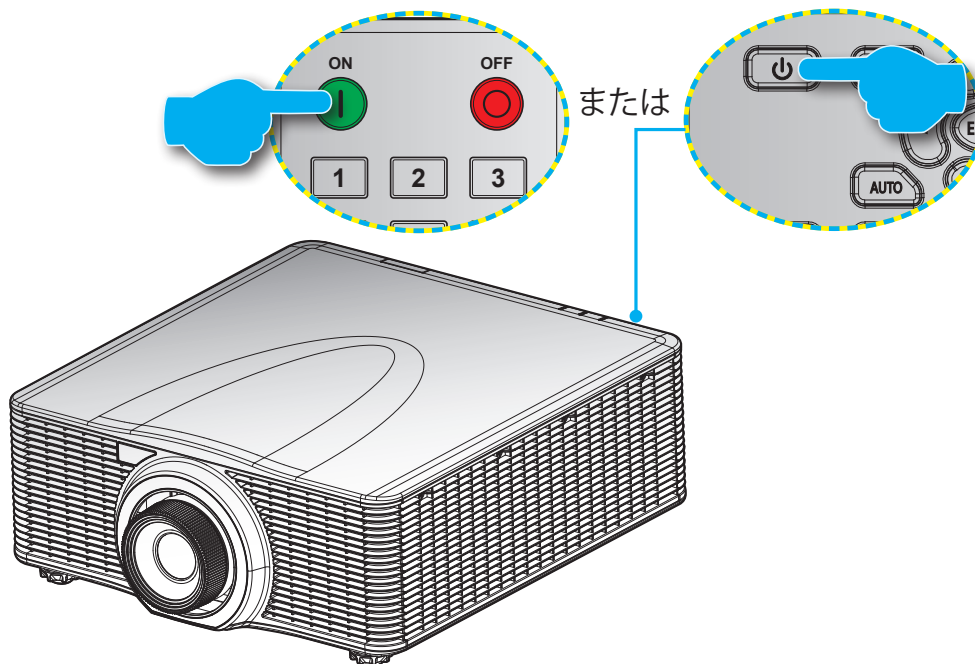
- リモコンを使用して特定のプロジェクターを制御するには、[ホットキー] を 3 秒間押し、次に、2 秒以内に 2 つの数字キーを押して、[ID コード] を選択します。以下は、ID コード 1～99 のコード表です。

ID コード	ID 設定	カスタムコード
1	[ホットキー] を 3 秒間押し、[0] を押して、次に、2 秒以内に [1] を押します。	0010
2	[ホットキー] を 3 秒間押し、[0] を押して、次に、2 秒以内に [2] を押します。	0011
3	[ホットキー] を 3 秒間押し、[0] を押して、次に、2 秒以内に [3] を押します。	0012
...
10	[ホットキー] を 3 秒間押し、[1] を押して、次に、2 秒以内に [0] を押します。	0019
11	[ホットキー] を 3 秒間押し、[1] を押して、次に、2 秒以内に [1] を押します。	001A
...
98	[ホットキー] を 3 秒間押し、[9] を押して、次に、2 秒以内に [8] を押します。	0071
99	[ホットキー] を 3 秒間押し、[9] を押して、次に、2 秒以内に [9] を押します。	0072

- すべてのプロジェクターを制御できるデフォルト状態に戻すには、[ホットキー] を 3 秒間押し、[0] を押して、次に、[0] を選択して、[ID コード 0] を選択します。

プロジェクターを使用する

プロジェクターの電源を入れる/切る



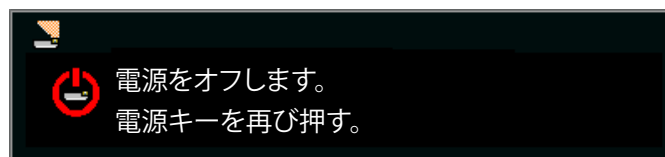
パワーオン

1. 電源コードとシグナルソースケーブルをしっかりと接続します。
2. 電源スイッチを [オン] 位置に設定します。
3. リモコンの [🔌] またはプロジェクターキーパッドの [🔌] を押すと、プロジェクターがオンになります。ステータスLEDがオレンジに長く点滅します。

注: 初めてプロジェクターの電源を入れると、使用言語、投射方向、その他の設定を選択するように求められます。

電源オフ

1. プロジェクターキーパッドの [🔌] またはリモコンの [🔴] を押すと、プロジェクターがオフになります。表示された画像に警告メッセージが表示されます。



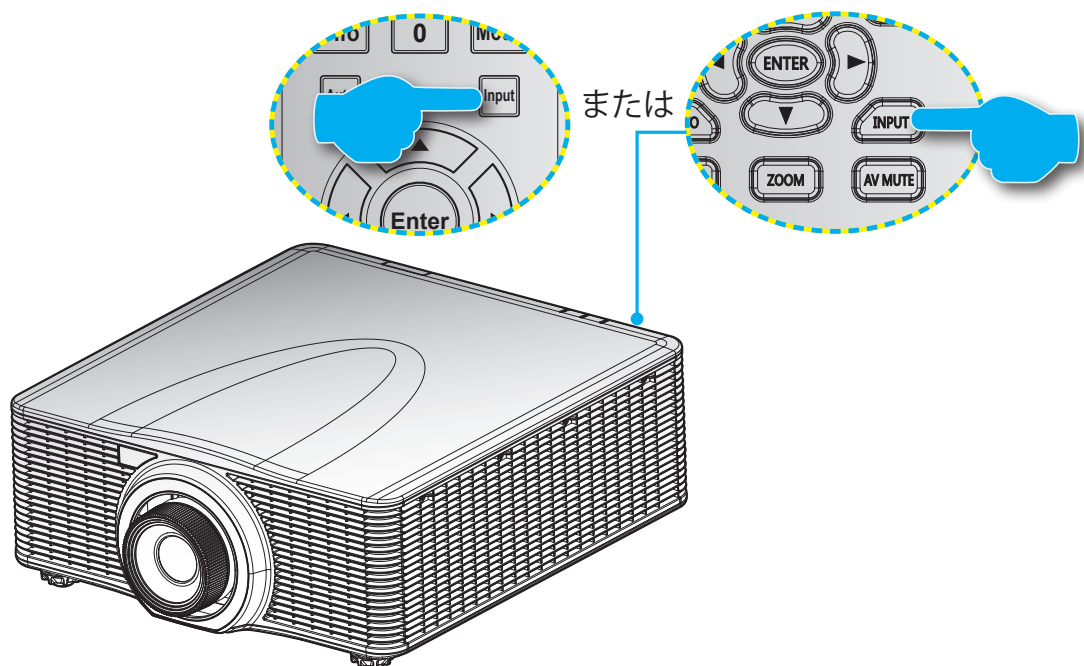
2. プロジェクターキーパッドの [🔌] またはリモコンの [🔴] をもう一度押して確認します。そうしないと、警告メッセージは、10 秒後に消えます。プロジェクターキーパッドの [🔌] またはリモコンの [🔴] を 2 回押すと、プロジェクターがシャットダウンします。
3. 電源スイッチを [オフ] 位置に設定します。
4. 電源コードをコンセントとプロジェクターから抜きます。

注: 電源を切った直後にプロジェクターの電源を入れる行為は推奨されません。

設定と設置

入力ソースを選択する

スクリーンに表示する接続ソース (コンピューター、ノートパソコン、ビデオプレーヤーなど) の電源を入れます。プロジェクターは、ソースを自動的に検出します。複数のソースが接続されている場合、プロジェクターキーパッドまたはリモコンの**入力**ボタンを押し、入力を選択します。



設定と設置

メニューナビゲーションと機能

本プロジェクタでは、多言語対応オンスクリーンメニューを使って、画像調整やさまざまな設定の変更を行うことができます。プロジェクタは自動的にソースを搜索(検出)します。

1. OSDメニューを開くには、リモコンまたはプロジェクターキーパッドの [Menu] を押します。
2. OSDが表示されたら、▲▼◀▶ を使用して、メニュー内を移動し、設定を上または下に調整します。
3. [入力] を押して、サブメニューに入る、または、選択/設定を確認します。
4. [終了] を押すと、前のメニューに戻る、または、トップレベルにいる場合、メニューを終了します。



設定と設置

OSD メニューツリー

メインメニュー	サブメニュー	サブメニュー 2	サブメニュー 3	デフォルト値	範囲	
ピクチャー	映像モード	明るさ		信号タイプに応じて、選択されたピクチャーモード。		
		プレゼンテーション				
		Movie				
		sRGB				
		ブレンディング				
		DICOM SIM.				
		ユーザー				
	壁の色	白			白	
		グレー130				
	輝度				ピクチャーモードに依存します。	0 ~ 100
	コントラスト				ピクチャーモードに依存します。	0 ~ 100
	鮮明度				5	0 ~ 10
	色の濃さ				VGA コンポーネント信号の場合のみ。	0 ~ 100
	色合い				VGA コンポーネント信号の場合のみ。	0 ~ 100
	Y	ビデオ			ピクチャーモードに依存します。	
		フィルム				
		明るさ				
		CRT				
		DICOM				
	ホワイトピーク					0 ~ 100
	色温度。	暖かい			ノーマル	
		ノーマル				
		クール				
	CW速度	2X				3X
		3X				
	HSG調整	赤色		色合い		1~199
				彩度		0 ~ 199
				ゲイン		1 ~ 199
		緑色		色合い		1~199
				彩度		0 ~ 199
				ゲイン		1 ~ 199
		青色		色合い		1~199
彩度					0 ~ 199	
ゲイン					1 ~ 199	
シアン			色合い		1~199	
			彩度		0 ~ 199	
			ゲイン		1 ~ 199	
マゼンタ		色合い		1~199		
		彩度		0 ~ 199		
		ゲイン		1 ~ 199		

設定と設置

メインメニュー	サブメニュー	サブメニュー 2	サブメニュー 3	デフォルト値	範囲	
ピクチャー	HSG調整	黄色	色合い		1~199	
			彩度		0 ~ 199	
			ゲイン		1 ~ 199	
		ホワイトゲイン	赤色		1~199	
			緑色			
			青色			
	デフォルトへリセット					
	コントラスト増加	オフ		オフ		
		ダイナミックブラック				
		エクストリームブラック				
	カラースペース	自動		自動		
		RGB (0-255)				
		RGB (16-235)				
		YUV				
調整をユーザーに保存	はい / いいえ					
スクリーン	縦横比	自動				
		4:3				
		16:9				
		16:10				
		ネイティブ				
	ピクセルフェーズ			アナログ信号のみ。	0 ~ 100	
	ピクセルトラック			アナログ信号のみ。	0 ~ 100	
	水平位置			アナログ信号のみ。	0 ~ 100	
	垂直位置			アナログ信号のみ。	0 ~ 100	
	デジタル水平ズーム	100%~200%		0	0 ~ 10	
	デジタル垂直ズーム	100%~200%		0	0 ~ 10	
	デジタル水平シフト			50	0 ~ 100	
	デジタル垂直シフト			50	0 ~ 100	
	天井	オフ		自動		
		オン				
		自動				
	背面投射	オフ / オン		オフ		
	ジオメトリ補正	水平キーストン			20	0 ~ 40
		垂直キーストン			20	0 ~ 40
		4角	左上の水平調整			
左上の垂直調整						
右上の水平調整						
右上の垂直調整						
左下の水平調整						

設定と設置

メインメニュー	サブメニュー	サブメニュー 2	サブメニュー 3	デフォルト値	範囲	
スクリーン	ジオメトリ補正	4角	左下の垂直調整			
			右下の水平調整			
			右下の垂直調整			
		グリッド色	紫 / 緑色	緑色		
		リセット	はい / いいえ			
	PCモード	オフ / オン	オフ			
	PIP-PBP	PIP / PBP Enable		オフ	オフ	
				PBP		
				PIP		
		メインソース		VGA	現在のソース。	
				HDMI-1		
				HDMI-2		
				DVI		
				HDBaseT		
		サブソース		VGA	現在のソースに依存します。	
				HDMI-1		
				HDMI-2		
				DVI		
				HDBaseT		
		レイアウト		左上	左上	
				右上		
			左下			
			右下			
	サイズ		小	ミディアム		
			ミディアム			
			大			
		交換				
	ソースキー		ソースの変更			
			全てのソースをリスト			
			自動ソース			
	自動画像		ノーマル	ワイド		
			ワイド			
	ソース情報		アクティブ なソース			
			信号形式			
			縦横比			
			解像度			
			垂直リフレッシュ			
			水平リフレッシュ			
			ピクセルクロック			
			同期タイマ			
		カラースペース				
		PIP/PBP(PIP/PBP がアクティブのとき)				
		<PIP/PBP ソースタイプ> (PIP/PBP がアクティブのとき)				

設定と設置

メインメニュー	サブメニュー	サブメニュー 2	サブメニュー 3	デフォルト値	範囲
設定	言語	English		English	
		Simplified Chinese			
		French			
		German			
		Italian			
		Japanese			
		Korean			
		Russian			
		Spanish			
		Portuguese			
		Indonesian			
		Dutch			
	メニュー位置	左上 		左上	
		右上 			
		中央 			
		左下 			
		右下 			
	スタンバイ電源モード	0.5Wモード		0.5Wモード	
		通信モード			
	テストパターン	なし		なし	
		グリッド			
		白			
		黒			
チェッカー盤					
カラーバー					
電源検知オートパワーオン	オフ/オン		オフ		
信号検知オートパワーオン	オフ/オン		オフ		
ホットキー設定	映像ミュート		映像ミュート		
	縦横比				
	フリーズ 画面				
	プロジェクト情報				
デフォルトヘリセット	はい/いいえ				
サービス					
光源	光源モード	定電力モード		定電力モード	
		一定強度			
		ECO Mode			
	定電力モード	0 ~ 99		99	0 ~ 99 (30% ~ 100%)
光源情報	LD時間				

設定と設置

メインメニュー	サブメニュー	サブメニュー 2	サブメニュー 3	デフォルト値	範囲
オプション	無信号背景	ロゴ		デフォルト値	
		青色			
		黒			
		白			
	自動シャットダウン			0	0 ~ 120 (1 ステップ: 5 分)
	スリープタイマー			0	0 ~ 990 (1 ステップ: 10 分)
	レンズ機能	フォーカス	コマンド		フォーカスイン - モーターがステップごとに進みます
					フォーカスアウト - モーターがステップごとに進みます
		ズーム	コマンド		ズームイン - モーターがステップごとに進みます
					ズームアウト - モーターがステップごとに進みます
		レンズシフト	コマンド		左シフト上 - モーターがステップごとに進みます
					左シフト下 - モーターがステップごとに進みます
					左シフト右 - モーターがステップごとに進みます
					左シフト左 - モーターがステップごとに進みます
	レンズメモリ	位置の適用		レコード 1 ~ 5	
		現在の位置を保存する		レコード 1 ~ 5	
	レンズのロック	オフ / オン	オフ		
	レンズキャリブレーション	コマンド			
	高度	オフ / オン		オフ	
	PIN	パスワード保護	オフ / オン	オフ	
		パスワード変更			
	リモート設定	上	オフ / オン	オン	
		前面	オフ / オン	オン	
		HDBaseT	オフ / オン	オン	
		プロジェクタアドレス	0 ~ 99	0	
	メッセージ表示	オフ / オン		オフ	
	本体キー照明設定	Keypad LED	常にオン	常にオン	
			常にオフ		
		ステータスLED	常にオン	常にオン	
			常にオフ		
	警告/エラーのみ				
情報	モデル名				
	シリアル番号				
	ネイティブ解像度				
	MCU FW				
	DDP FW				
	M9813 FW				
	Motor FW				
	ext flash FW				
メイン入力					

設定と設置

メインメニュー	サブメニュー	サブメニュー 2	サブメニュー 3	デフォルト値	範囲	
オプション	情報	メイン信号形式				
		メイン° 刻ルロック				
		メイン同期タイプ°				
		メイン水平リフレッシュ				
		メイン垂直リフレッシュ				
		PIP / PBP入力				
		PIP/PBP信号形式				
		PIP/PBP° 刻ルロック				
		PIP/PBP同期タイプ°				
		PIP/PBP水平リフレッシュ				
		PIP/PBP垂直リフレッシュ				
		光源の出力				
		使用時間				
		光源時間				
		スタンバイモード°				
		レンズのロック設定				
		IPアドレス				
DHCP						
システム温度						
3D	3D	自動		自動		
		オン				
	3D反転	オフ / オン		オフ		
	3D映像フォーマット	フレームパック			信号入力に依存します。AVINFO で HDMI ソースが検出された場合、3D モードが自動的にオンに切り替わります。	
		サイドバイサイド				
		トップボトム				
		フレームシーケンス				
	3D同期出力	エミッターに			エミッターに	
		次の映写機に				
	フレーム遅延					1~200
左右の基準	第1フレーム			第1フレーム		
	フィールドGPIO					
DLP Link	オフ / オン			オフ		

設定と設置

メインメニュー	サブメニュー	サブメニュー 2	サブメニュー 3	デフォルト値	範囲
通信	LAN	DHCP		設定によります。	
		IPアドレス			
		サブネットマスク			
		デフォルトゲートウェイ			
		MACアドレス			
		適用	コマンド		
	ネットワーク	プロジェクト名		設定によります。	
		ネットワークメッセージを表示	オン オフ		
		ネットワークの初期化…	コマンド		
	シリアル通信速度	1200		19200	
		2400			
		4800			
		9600			
		14400			
		19200			
		38400			
		57600			
		115200			
	シリアル通信のエコー	オフ / オン		オフ	
	シリアル通信経路	RS232		RS232	
HDBaseT					

設定と設置

ピクチャーメニュー



映像モード

特定の条件下で画像を表示するためプロジェクターを最適化します:

- **明るさ:** PC入力からの最大輝度。
- **プレゼンテーション:** このモードは、プロジェクターが PC に接続され、PowerPoint プレゼンテーションを表示するのに適しています。
- **Movie:** このモードはビデオ再生に適しています。
- **sRGB:** このピクチャーモードは、REC709 色標準にできるだけ近づけます。
- **ブレンディング:** 複数のプロジェクターを使用する場合、このモードでは目に見えるバンディングを排除し、画面全体に明るく高解像度な 1 つの画像を作成できます。
- **DICOM SIM.:** このモードでは、X 線撮影、MRI などの医療用画像を白黒で投影することができます。
- **ユーザー:** カスタマイズされたピクチャー設定を適用します。

壁の色

プロジェクターは、特定の壁のためにカスタマイズされた色性能を向上させることができるように壁の色を設定します。利用可能なオプションには、白とグレー130が含まれます。

輝度

プロジェクターの光源の輝度を調整します。

コントラスト

画像の明るい部分と暗い部分の差異を調整し、白と黒の量を変更します。

鮮明度

画像内のエッジ定義の度合いを調整します。

設定と設置

色の濃さ

白黒ビデオ映像を完全飽和色に変更します。

色合い

画像内の赤と緑の量を調整します。

γ

γカーブタイプを設定します。初期セットアップと微調整が完了すると、ガンマ調整ステップを使用して画像出力を最適化します。

- **ビデオ:** ビデオまたはTVソース用。
- **フィルム:** ホームシアター用。
- **明るさ:** 輝度の強調用。
- **CRT:** CRT モニター用。
- **DICOM:** シミュレートされた DICOM 用。

ホワイトピーク

白色の明るさを 100% 近くまで増加させます。

色温度。

ケルビンスケールを用いて測定した色温度を調整します。

CW速度

CW 速度を 2x または 3x から選択します。色相環速度は、ホイールと DMD 間の遅延を定義します。

HSG調整

HSG 調整に関する詳細については、32ページを参照してください。

コントラスト増加

コントラスト増加機能を有効または無効にします。コントラスト比を上げるためにこの機能を有効にします。

- **オフ:** コントラスト増加機能を無効にします。
- **ダイナミックブラック:** ビデオコンテンツのコントラスト比を自動調整します。
- **エクストリームブラック:** 空白 (単色 (黒)) 画像が表示されているとき、コントラストを自動増加させます。

カラースペース

入力信号色に対して特別に調整された色空間を選択します。この機能は、アナログ信号と特定のデジタルソースでのみ使用できます。利用可能なオプションには、自動、RGB (0-255)、RGB (16-235)、および、YUV が含まれます。

調整をユーザーに保存

現在のピクチャー設定を保存します。

HSG 調整メニュー

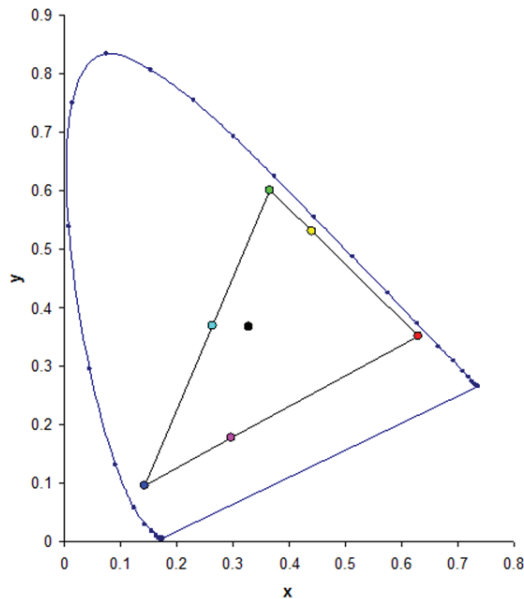


設定と設置

色合い

色合いの調整については、次の点に注意してください:

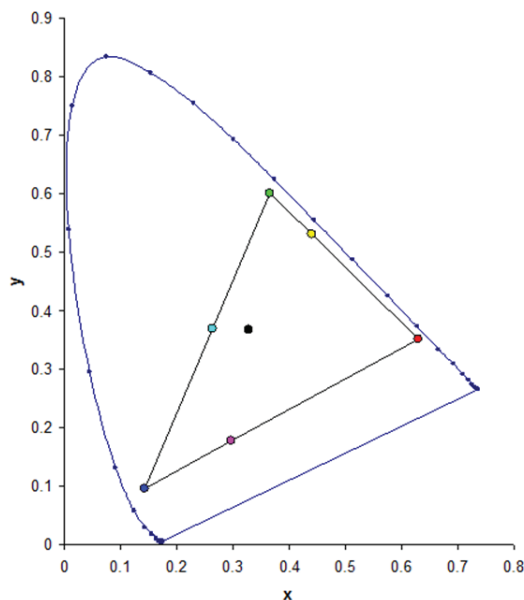
- 各色 (R、G、B、C、M および Y) に対する色合いを個別に調整します。
- 白色は、色合いの入力を持っていません。
- 負の色合いの入力は、色の色合いの時計回りの回転を提供します。
- 正の色合いの入力は、色の色合いの反時計回りの回転を提供します。
- ゼロ入力は、色の色合いを変更することはありません。



彩度

彩度の調整については、次の点に注意してください:

- 各色 (R、G、B、C、M および Y) に対する彩度を個別に調整します。
- 0 の彩度レベルは、その領域からすべての色を削除します。
- 254 の彩度レベルは、最大の色を持つように色領域を設定します。
- 127 の彩度レベルは、彩度を変更しません。



設定と設置

ゲイン

ゲインの調整については、次の点に注意してください:

- 各色 (R、G、B、C、M、YおよびW) に対するゲインを個別に調整します。
- 入力の範囲は、0 から 254 です。
- ゲインは、各色の名暗度レベルを変更します。
- 127 のゲインレベルは、その色に対する HSG コントロールを無効にします。
- 127 未満のゲインレベルは、それぞれの色を暗くします。
- 254 のゲインレベルは最ゲインを有するように色領域を設定します。しかし、クリッピングが信号に発生します。
- 127 のゲインは公称設定です。
- 白色は、3 つのゲインレベルコントロール、ホワイトの R、G、B 成分の各項目毎に1つずつを提供します。

デフォルトへリセット

すべての HSG 調整を工場出荷時デフォルト設定にリセットします。

設定と設置

スクリーンメニュー



縦横比

検出されたサイズの画像を表示、または縦、横、両方の長さを最大化して画像をリサイズ、または本来のアスペクト比を維持しながら最大サイズまでリサイズします。

- **自動:** 検出されたサイズで表示します。
- **4:3:** 4:3のアスペクト比を維持します。
- **16:9:** 16:9のアスペクト比を維持します。
- **16:10:** 16:10のアスペクト比を維持します。
- **ネイティブ:** このフォーマットは、スケーリングなしでオリジナルの画像を表示します。

ピクセルフェーズ

ピクセルトラッキングを最適化した後も、まだ画像にちらつきやノイズが見られる場合、ピクセルフェーズを調整します。ピクセルフェーズは、ピクセルサンプリングクロックの位相を受信信号に対して調整します。(アナログ RGB 信号のみ。)

ピクセルトラック

画質が安定し、アスペクト比が維持され、ピクセルフェーズが最適化されます。ちらつき、縦線、画面全体に及ぶ帯など、ピクセルトラッキングの劣化による症状を緩和します。(アナログ RGB 信号のみ。)

水平位置

画像を利用可能なピクセル範囲内で左右に移動します。

垂直位置

画像を利用可能なピクセル範囲内で上下に移動します。

デジタル水平ズーム

プロジェクターの表示範囲のサイズを水平に変更します。この設定で表示範囲をリサイズした場合、デジタル水平シフトを変更することで移動することができます。

設定と設置

デジタル垂直ズーム

プロジェクターの表示範囲のサイズを垂直に変更します。この設定で表示範囲をリサイズした場合、デジタル垂直シフト設定を変更することで移動することができます。

デジタル水平シフト

表示範囲のサイズがデジタル水平ズーム設定で変更されている場合、表示範囲を水平に移動できます。

デジタル垂直シフト

表示範囲のサイズがデジタル垂直ズーム設定で変更されている場合、表示範囲を垂直に移動できます。

天井

天井に取り付けられたプロジェクターからの投影は、画像を上下逆に置いてください。

背面投射

画像を逆転させ、透明な画面に後ろから投射します。

ジオメトリ補正

歪みを制御するために、いくつかの方法が提供されています。

ジオメトリ補正に関する詳細については、36ページを参照してください。

- **水平キーストン:** キーストンを水平に調整し、より正方形に近い画像を作ります。
- **垂直キーストン:** キーストンを垂直に調整し、より正方形に近い画像を作ります。
- **4角:** 4コーナーのxとy位置をそれぞれ動かすことで、定義された領域に合うように画像を押しつぶすことができます。
- **グリッド色:** 4 コーナー補正、緑または紫を選択します。
- **リセット:** 設定をデフォルト値に復元します。
- **PCモード:** PC アプリを使用して、ワーピングおよびブレンディングを実行します。

PIP-PBP

PIP モードまたは PBP モードで、2 つのソースを使って、画像を表示します。

PIP/PBP に関する詳細については、37ページを参照してください。

ソースキー

ソースを表示または変更します。利用可能なオプションには、ソースの変更、全てのソースをリスト、および、自動ソースが含まれます。

自動画像

プロジェクターが入力信号を再取得しロックするように強制します。信号クオリティがあまりよくない場合に便利な機能です。

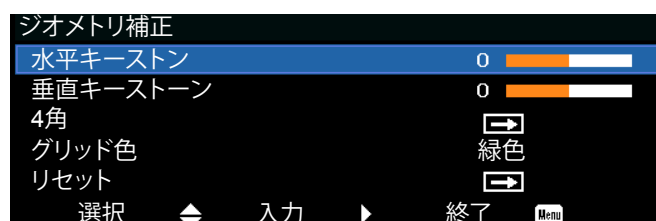
- **ノーマル:** 4:3 入力ソースのすべてをサポートします。
- **ワイド:** 16:9 入力ソースのすべて、および、4:3 入力ソースのほとんどをサポートします。

注: 「ワイドモード」(例: 1400 x 1050) で認識されないこれらの 4:3 入力ソースの場合、「標準モード」を使用して自動画像を実行します。

ソース情報

現在のソース設定を表示します。(読み取り専用)。

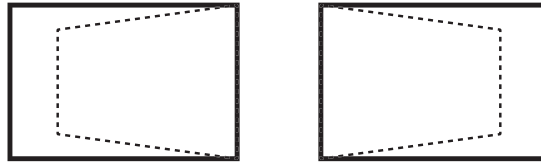
ジオメトリ補正メニュー



設定と設置

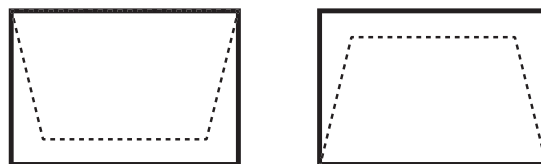
水平キーストン

画像の水平方向の歪みを調整し、より正方形に近いイメージを描きます。水平キーストーンは台形になり、上下が片側に傾いた画像の形状を補正するために使用されます。これは、軸状アプリケーションで水平に使用することを意図しています。



垂直キーストーン

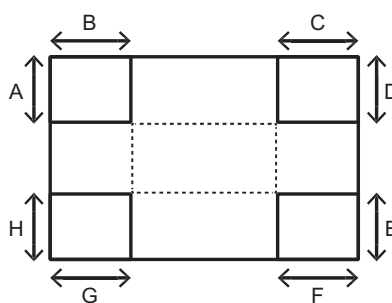
画像の垂直方向の歪みを調整し、より正方形に近い画像を表示します。垂直キーストーンは台形になり、上下が片側に傾いた画像の形状を補正するために使用されます。これは、軸状アプリケーションで垂直に使用することを意図しています。



4角

4コーナーのxとy位置をそれぞれ動かすことで、定義された領域に合うように画像を押しつぶすことができます。

- **左上の水平調整 (B) / 左上の垂直調整 (A):** 左上隅は、画像を最大 120 ピクセル (水平方向) と 80 ピクセル (垂直方向) に絞るために移動できます。
- **右上の水平調整 (C) / 右上の垂直調整 (D):** 右上隅は、画像を最大 120 ピクセル (水平方向) と 80 ピクセル (垂直方向) に絞るために移動できます。
- **左下の水平調整 (G) / 左下の垂直調整 (H):** 左下隅は、画像を最大 120 ピクセル (水平方向) と 80 ピクセル (垂直方向) に絞るために移動できます。
- **右下の水平調整 (F) / 右下の垂直調整 (E):** 右下隅は、画像を最大 120 ピクセル (水平方向) と 80 ピクセル (垂直方向) に絞るために移動できます。



PIP/PBP メニュー



設定と設置

PIP / PBP Enable

2つのソースを同時に表示するか(メインとPIP/PBP 画像)、または1つのソースのみ表示するかを切り替えます。

- **オフ:** メインソースからの画像のみを表示します。
- **PBP:** スクリーンを 2 つの部分に分割して、2 つのソースから画像を表示します。1 つのソースがメインスクリーンに表示され、別のソースが挿入ウィンドウに表示されます。
- **PIP:** スクリーンを半分に分割して、2 つのソースから画像を表示します。1 つのソースがスクリーンの左側に表示され、もう一方のソースはスクリーンの右側に表示されます。レイアウトについては、39ページを参照してください。

メインソース

メイン画像として使用するアクティブな入力を選択します。利用可能な入力には、VGA、HDMI-1、HDMI-2、DVI、および、HDBaseT が含まれます。

サブソース

サブ画像として使用するアクティブな入力を選択します。利用可能な入力には、VGA、HDMI-1、HDMI-2、DVI、および、HDBaseT が含まれます。

レイアウト

PIP/PBP画像の画面上の位置を設定します。39ページを参照してください。

サイズ

PIP/PBP サイズを 小、ミディアム、または、大 から選択します。

交換

メイン画像をPIP/PBPへ、PIP/PBP画像をメインへと入れ替えることができます。

注: スワップ機能はPIP/PBPが有効な場合のみ利用できます。

PIP/PBP マトリクス

PIP/PBP 互換性表は、以下に示す通りです:

PIP/PBP マトリクス	VGA	DVI-D	HDMI-2	HDMI-1	HDBaseT
VGA	—	V	V	V	V
DVI-D	V	—	V	—	—
HDMI-2	V	V	—	V	V
HDMI-1	V	—	V	—	—
HDBaseT	V	—	V	—	—








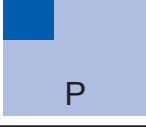


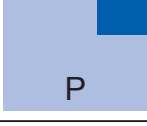

注:



1. 両方の入力の帯域幅が大きすぎると点滅することがあります。解像度を下げてください。
2. メインピクチャーとサブピクチャーのフレームレートの違いにより、フレームの引き裂きが発生することがありますので、入力ごとにフレームレートを合わせてみてください。

設定と設置

レイアウトおよびサイズ

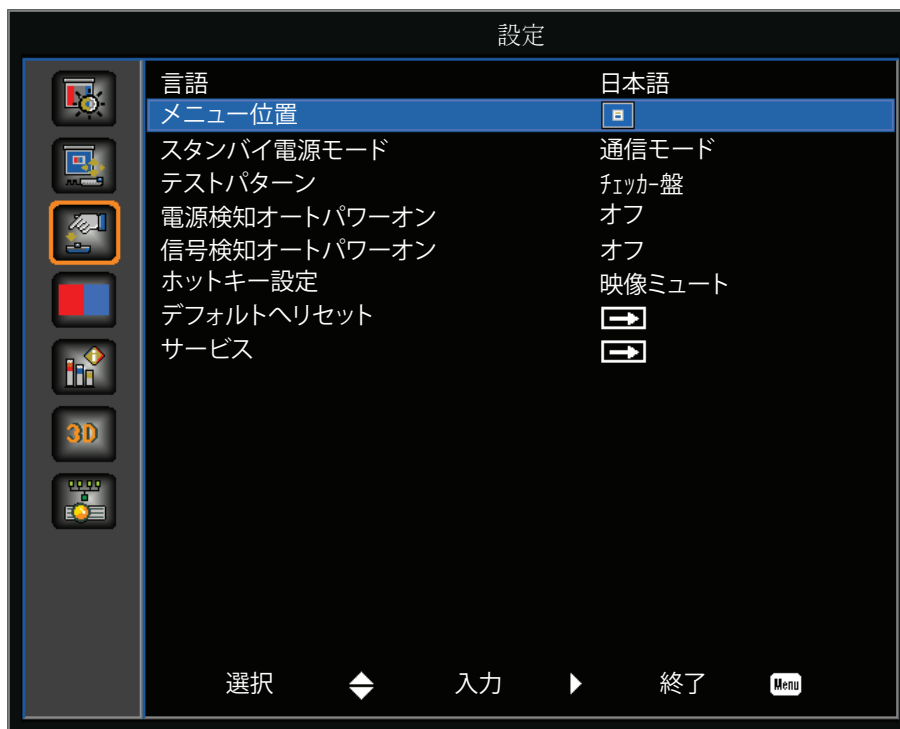
P は、主要なソース領域 (明るい色) を示します:

PIP レイアウト	PIPサイズ		
	小	ミディアム	大
PIP、右下			
PIP、左下			
PIP、左上			
PIP、右上			

PBP レイアウト	PBP サイズ		
	小	ミディアム	大
PBP、メイン左	-	-	
PBP、メイン右	-	-	

設定と設置

設定メニュー



言語

オンスクリーンディスプレイの利用可能な言語を選択します。利用可能なオプションには、英語、簡体字中国語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、日本語、韓国語、ロシア語、スペイン語、ポルトガル語、インドネシア語、オランダ語が含まれます。



メニュー位置

オンスクリーンディスプレイメニューの位置を設定します。利用可能なオプションには、左上、右上、中央、左下、および、右下が含まれます。



スタンバイ電源モード

スタンバイ電源モードを設定します。

- **0.5Wモード**: AC 電源に接続された時、プロジェクターはスタンバイモードとなります。(<0.5W)。
- **通信モード**: プロジェクターは、電力待機時、LAN 端子を介して制御することができます。

設定と設置

テストパターン

表示するために必要な内部テストパターンを設定します。利用可能なオプションには、なし、グリッド、白、黒、チッカー盤、および、カーバーが含まれます。

電源検知オートパワーオン

オンを選択して、電源検知オートパワーオンを有効にします。プロジェクターは、電源に接続されると自動的にオンになります。利用可能なオプションには、オン および オフが含まれます。

信号検知オートパワーオン

オンを選択して、信号検知オートパワーオンを有効にします。プロジェクターは、HDMI 入力ソースを検出すると自動的にオンになります。利用可能なオプションには、オン および オフが含まれます。

ホットキー設定

リストにある機能をハイライトし、**入力**を押して、各機能をリモートキーパッドのホットキーに割り当てます。専用のボタンを持っていない機能を選択し、この機能にホットキーを割り当てると、ホットキーを押しただけで簡単に機能を実行することができます。利用可能なオプションには、映像ミュート、縦横比、フリーズ画面、および、プロジェクター情報が含まれます。

デフォルトへリセット

すべての設定を初期設定にリセットします。ネットワークはリセットしませんが、RS232 はリセットします。

光源メニュー



光源モード

光源モードを設定します。利用可能なオプションには、定電力モード、一定強度、および、ECO Modeが含まれます。

定電力モード

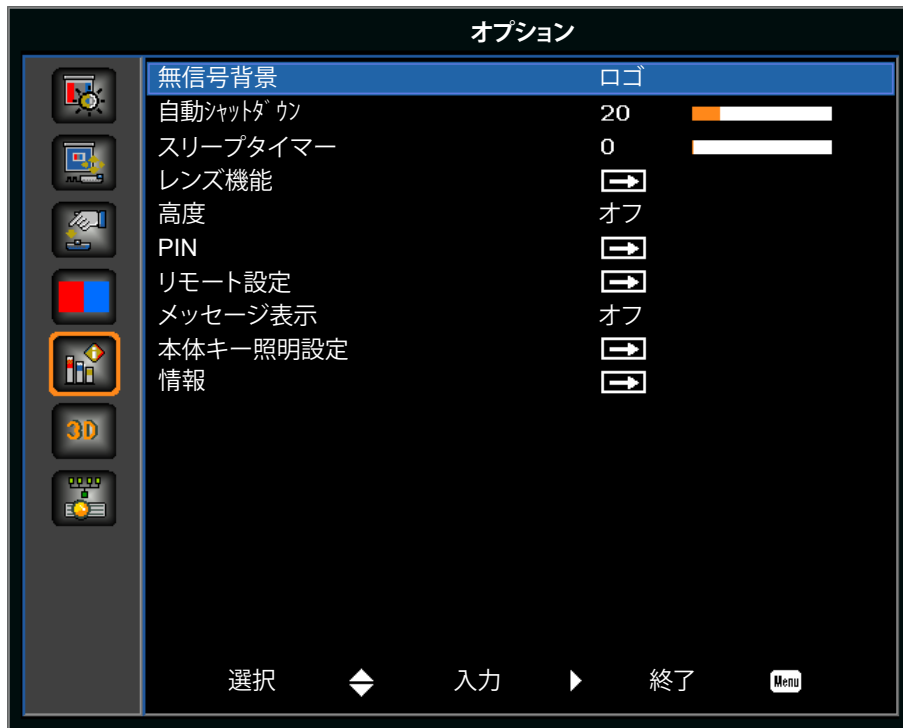
レーザーダイオードの出力値をワット単位で設定します。

光源情報

プロジェクターの使用時間、レーザーダイオードの使用時間、および光センサー調整に関する情報を表示します。

設定と設置

オプションメニュー



無信号背景

信号が使用できないとき、この機能を使用して、ロゴ、青色、黒、または、白 スクリーンを表示します。

自動シャットダウン

あらかじめ設定された時間を経過しても信号が検出されない場合、プロジェクターは自動的にオフになります。プロジェクターの電源が切れる前に有効な信号をキャッチすると、画像が表示されます。

スリープタイマー

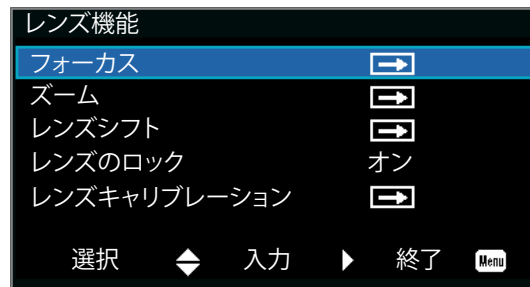
あらかじめ設定された時間を経過した後、自動的にプロジェクターの電源を切ります。

レンズ機能

レンズパラメータを調整します。

- **フォーカス:** 画像のフォーカスポイントを調整します。
- **ズーム:** 画像のズームインまたはアウトを調整します。
- **レンズシフト:** レンズを上下左右にシフトさせます。
- **レンズメモリ:** レンズシフトを行った後、現在のレンズ位置を保存します。レンズ位置をレンズメモリの選択されたセットに適用します。レンズメモリは、最大 5 つの位置を保存できます。
- **レンズのロック:** すべてのレンズのモーターを動かさないようにロックする際に選択します。ズーム、フォーカス、水平位置や垂直位置の設定ができなくなり、その他のレンズ機能の変更や上書きはすべてロックされます。複数のプロジェクターをインストールする際など、うっかり位置を変更してしまうことを防ぐには便利な機能です。
- **レンズキャリブレーション:** 校正し、レンズを中央に移動させます。

設定と設置



高度

高度モードを有効または無効にします。

- **オン:** 高度 $\geq 2000\text{m}$ の場合、高度モードを有効にします。高高度の場合、十分な空気流を確保できるようにファンが高速で作動します。
- **オフ:** 高度モードを無効にします。高度 $2,000\text{m}$ 未満の場合。

PIN

PIN コードでプロジェクターを保護します。有効にすると、画像を投影する前に PIN コードを入力する必要があります。

- **パスワード保護:** オンに設定して、機能を有効にします。
- **パスワード変更:** 新しい PIN コードを設定します。



リモート設定

リモコンレシーバーを有効または無効にし、リモコン ID 設定を構成します。

- **上:** 上部リモコンレシーバーを有効または無効にします。
- **前面:** 前面リモコンレシーバーを有効または無効にします。
- **HDBaseT:** オンを選択し、HDBaset 端子をリモコンレシーバーとして設定します。
- **プロジェクタアドレス:** 複数プロジェクター用にリモコン ID を設定します。詳細は、20ページを参照してください。

メッセージ表示

プロジェクター設定を非表示または表示します。

本体キー照明設定

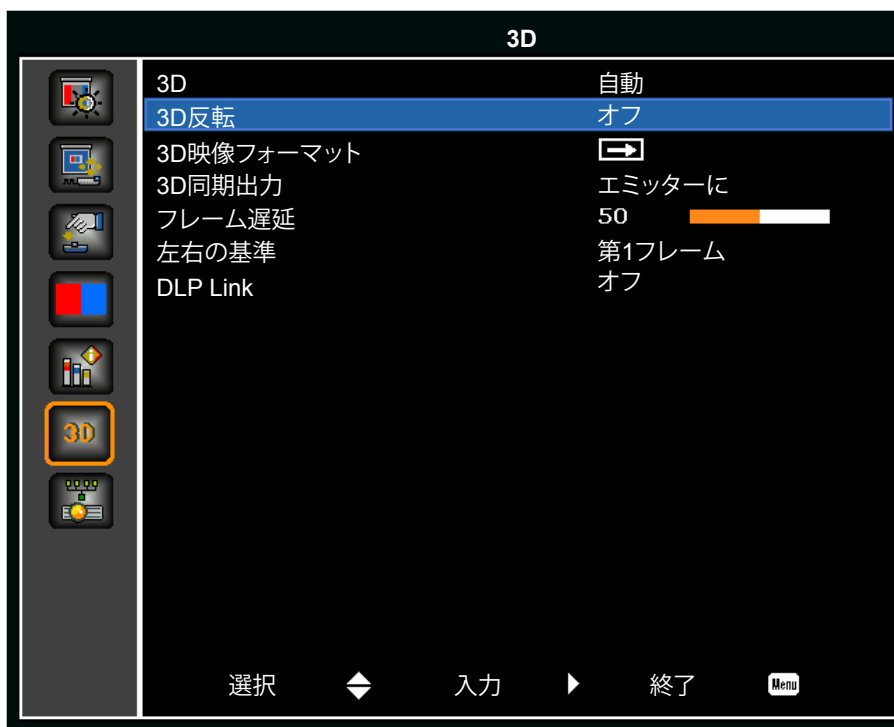
Keypad LED およびステータス LED を制御します。

情報

プロジェクター設定を表示します。(読み取り専用)。

設定と設置

3D メニュー



3D

3D コンテンツ検出を有効にします。

3D反転

単一プロジェクターを使用している場合、3D 同期信号を反転させます。

3D映像フォーマット

3D 映像フォーマットを設定します。必須の 3D 形式およびフレーム順次 3D@120Hz をサポートします。利用可能なオプションには、フレームパック、サイドバイサイド、トップボトム、および、フレームシーケンス が含まれます。

3D同期出力

3D 同期信号を 3D 同期出力補正器により、エミッターまたは次のプロジェクターに 3D 混同の目的で送信します。

フレーム遅延

3D 混合の下で画像の非同期表示を補正します。

左右の基準

左または右参照のソース。

- **第1フレーム:** これは、単一 3D プロジェクターに使用されます。
- **フィールドGPIO:** 複数プロジェクターアプリケーションで、最初の 3D 出力信号を同じにするには、フィールド GPIO を選択します。

DLP Link

DLP 3D 眼鏡の最適化された設定する場合に選択します。

設定と設置

通信メニュー



LAN

通信設定を決定します。

- **DHCP:** DHCP のオン/オフを切り換えます。
- **IPアドレス:** ネットワーク IP アドレスを割り当てます。
- **サブネットマスク:** ネットワークサブネットマスクを割り当てます。
- **デフォルトゲートウェイ:** ネットワークデフォルトゲートウェイを割り当てます。
- **MACアドレス:** ネットワーク MAC アドレスの値を表示します。
- **適用:** 設定が変更または追加されたとき、LAN 構成を適用します。

ネットワーク

ネットワーク設定を決定します。

- **プロジェクト名:** プロジェクト名が表示されます。
- **ネットワークメッセージを表示:** ネットワークメッセージのオン/オフを切り替えます。
- **ネットワークの初期化...:** ネットワーク設定を工場出荷時にリセットします。プロジェクト名、IP アドレス (LAN)、開始 IP と終了 IP、および、SNMP 設定をリセットすることができます。

シリアル通信速度

シリアルポートとボーレートを選択します。利用可能なオプションには、1200、2400、4800、9600、14400、19200、38400、57600、および、115200 が含まれます。

シリアル通信のエコー

シリアルポートに文字をエコーさせるかどうかを管理します。

シリアル通信経路

RS232 または HDBaseT に対するシリアルポートのパスを設定します。

設定と設置

Webブラウザを使って、プロジェクトを制御する方法

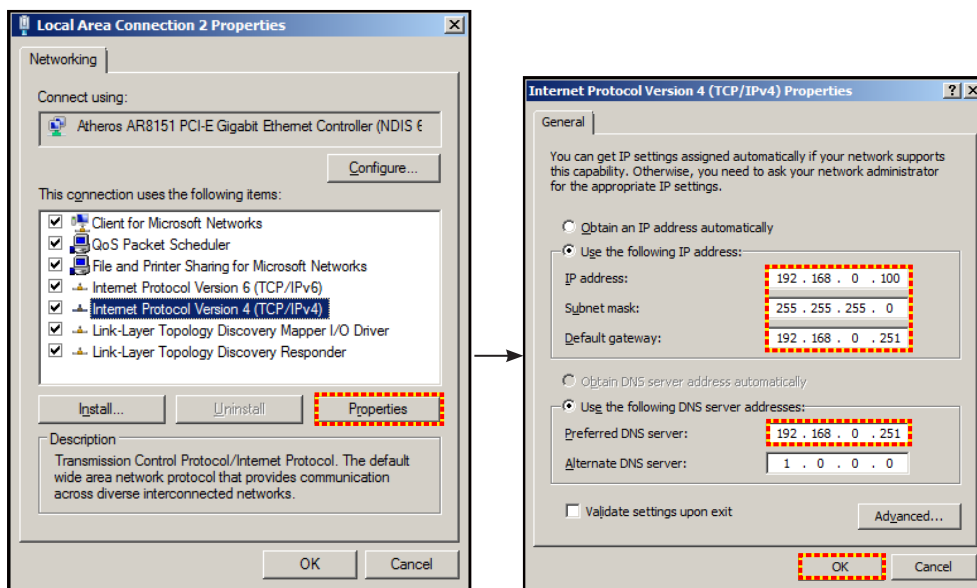
1. DHCP サーバーが IP アドレスを自動的に割り当てられるよう、プロジェクトの DHCP オプションを [オン] にします。
2. PC で Web ブラウザを開き、プロジェクトの IP アドレスを入力します。([設定: 通信 > LAN > IPアドレス])。

注: このセクションの手順は Windows 7 オペレーティングシステムに基づいています。

コンピュータからプロジェクトに直接接続します * (Windows 7 以降の場合)

1. プロジェクトの DHCP オプションを [オフ] に切り替えます。
2. プロジェクトの IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイを構成します。45ページを参照してください。
3. PC の **ネットワークと共有センター** ページを開き、プロジェクトに設定されている値と同一のネットワークパラメータを PC に割り当てます。[OK] をクリックしてパラメータを保存します。

注: IP アドレスの最後のグループ (例: 100) は、プロジェクトとは異なる IP アドレスを使用してください。ネットワークパラメータ (IP アドレスとサブネットマスクの他のグループ) が、OSD メニューに表示されているものと似ていることを確認します。



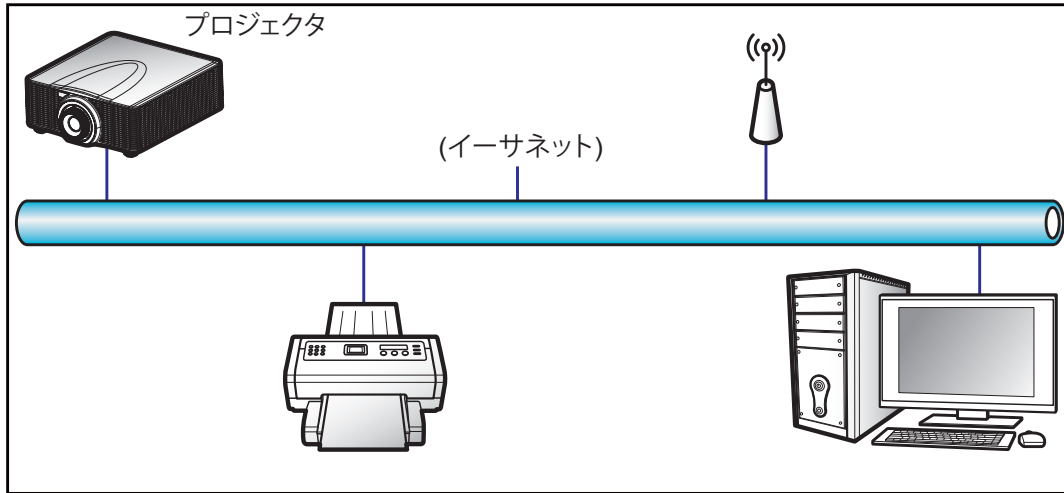
4. コンピュータで Web ブラウザを開き、URL フィールドにプロジェクトの IP アドレスを入力して、[Enter] を押します。

設定と設置

設定のネットワーク : コントロール設定メニュー

LAN RJ45 機能

操作を簡単にするために、プロジェクターは多様なネットワーク機能とリモート管理機能を備えています。プロジェクターの LAN/RJ45 機能では、ネットワークを介して電源のオン/オフ、明るさ設定、コントラスト設定などをリモート管理できます。また、プロジェクターのステータス情報 (ビデオソースなど) を表示することができます。



有線 LAN 端末機能

このプロジェクターは、PC (ラップトップ) またはその他の外部デバイスを利用し、RJ45 コネクタと互換性のある Crestron / Extron / AMX (デバイス検出) / PJLink を介して制御できます。

- Crestron は米国の Crestron Electronics, Inc. の登録商標です。
- Extron は米国の Extron Electronics, Inc. の登録商標です。
- AMX は米国の AMX LLC の登録商標です。
- PJLink は JBMA を通して日本、米国、その他の国で商標とロゴの登録を申請しました。

このプロジェクターは Crestron Electronics コントローラーと関連ソフトウェア、たとえば、RoomView® の指定のコマンドに対応しています。

<http://www.crestron.com/>

このプロジェクターは Extron デバイスに対応しているのでご参照ください。

<http://www.extron.com/>

このプロジェクターは AMX (デバイス検出) に対応しています。

<http://www.amx.com/>

このプロジェクターは PJLink Class1 (バージョン 1.00) の全コマンドに対応しています。

<http://pjlink.jbmia.or.jp/english/>

LAN/RJ45 ポートに接続し、プロジェクターをリモート操作できる各種外部デバイスとそれらの外部デバイスの対応コマンドに関する詳細については、サポートサービスに直接お問い合わせください。

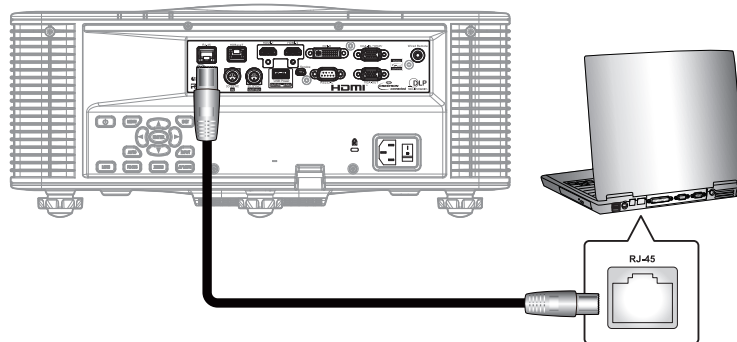
LAN 制御設定:

LAN 制御	ポート
AMX	9131
Crestron	41794
PJ-Link	4352
Telnet	3023
Http	80

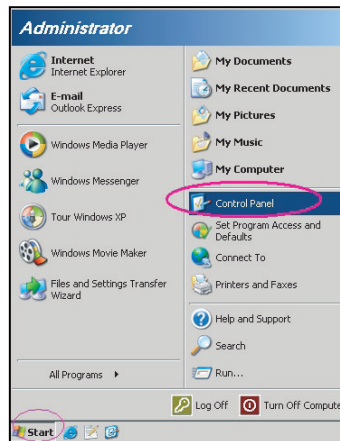
設定と設置

LAN RJ45 (Windows XP の場合)

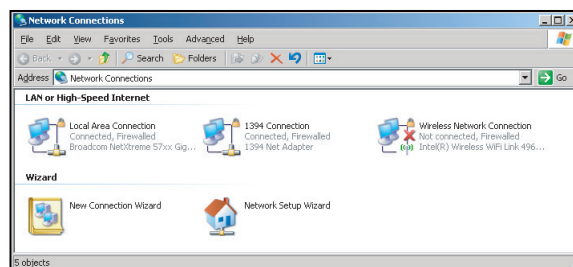
1. プロジェクターと PC (ラップトップ) の RJ45 コネクタに RJ45 ケーブルを接続します。



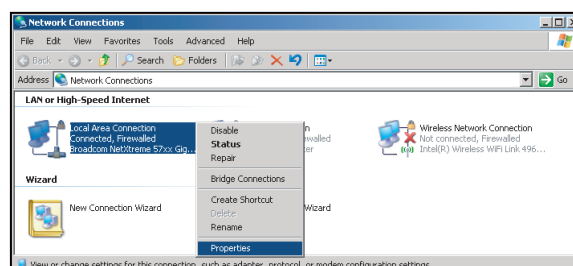
2. PC (ラップトップ) で、**Start (スタート) > Control Panel (コントロールパネル) > Network Connections (ネットワーク接続)** の順に選択します。



3. **Local Area Connection (ローカルエリア接続)** を右クリックし、**Property (プロパティ)** を選択します。

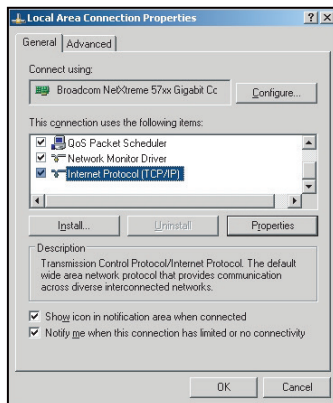


4. **Properties (プロパティ)** ウィンドウで、**General (全般)** タブを選択し、**Internet Protocol (TCP/IP) (インターネットプロトコル (TCP/IP))** を選択します。

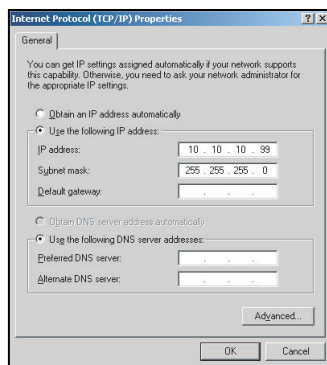


設定と設置

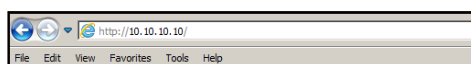
5. [Property] (プロパティ) をクリックします。



6. IP アドレスとサブネットマスクを入力し、[OK] を押します。



7. プロジェクターの [Menu] ボタンを押します。
8. **通信 > LAN** を選択します。
9. 次の接続パラメータを入力します:
 - DHCP: オフ
 - IPアドレス: 10.10.10.10
 - サブネットマスク: 255.255.255.0
 - デフォルトゲートウェイ: 0.0.0.0
10. [入力] を押し、設定を確認します。
11. Adobe Flash Player 9.0 以降をインストールした Microsoft Internet Explorer など、Web ブラウザーを開きます。
12. アドレスバーに、プロジェクターの IP アドレスを入力します: 10.10.10.10.



設定と設置

13. [入力] を押します。
このプロジェクターはリモート管理できます。LAN/RJ45 機能に次のように表示されます。

メインページ

ネットワーク設定ページ

Main
Network Setting
Configurations
Information

Control

Power ON OFF

Main Source

Sub Source

PIP/PBP

AV Mute ON OFF

Freeze ON OFF

Key

Menu	Up	Exit
Left	Enter	Right
	Down	Input

Main
Network Setting
Configurations
Information

Control

Projector Name

Network Restart

Network Factory Reset

LAN Settings

DHCP ON OFF

IP Address

Subnet Mask

Default Gateway

MAC Address

Creston Control System

Control System IP

IPID

Port

構成ページ

情報ページ

Main
Network Setting
Configurations
Information

Image Settings

Color

Brightness

Sharpness

Contrast

Configurations

Display mode

Ceiling Mount

Standby Mode

Light Source Settings

Light Source Mode

Constant Power

Test Pattern

Test Pattern

Main
Network Setting
Configurations
Information

FW Version	
Scaler	
MCU	A00.27
LAN	A02.25
Other	
Model Name	DAZULUU
Serial Number	
Light Source Hours	0

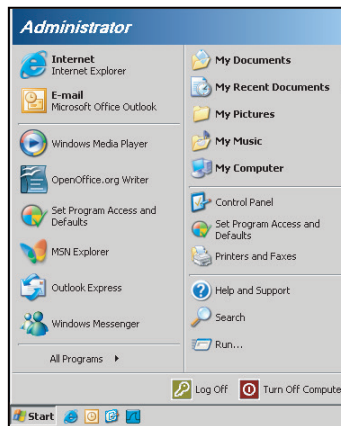
設定と設置

RS232 by Telnet 機能

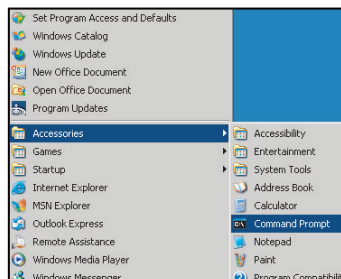
RS232 コマンドの制御方法には代替があります。これは LAN/RJ45 インターフェイスで [RS232 by TELNET] と呼ばれています。

[RS232 by Telnet] のクイックスタートガイド

- プロジェクターの OSD で IP アドレスを確認します。
- PC/ラップトップがプロジェクターの Web ページにアクセスできることを確認します。
- PC/ラップトップが [TELNET] 機能を拒否する場合、[Windows ファイアウォール] 設定が無効になっていることを確認します。



1. Start (スタート) > All Programs (すべてのプログラム) > Accessories (アクセサリ) > Command Prompt (コマンドプロンプト) を選択します。



2. コマンドを次の形式で入力します。
 - telnet ttt.xxx.yyy.zzz 3023 ([Enter (入力)] キーを押す)
 - (ttt.xxx.yyy.zzz: プロジェクターの IP アドレス)
3. Telnet 接続の用意ができて、RS232 コマンドを入力できるのであれば、[Enter (入力)] キーを押すと、RS232 コマンドが実行可能になります。

[RS232 by TELNET] の仕様:

1. Telnet: TCP。
2. Telnet ポート: 3023 (詳細は、サービスエージェントまたはチームにお問い合わせください)。
3. Telnet ユーティリティ: Windows [TELNET.exe] (コンソールモード)。
4. RS232-by-Telnet 制御の通常切断: 閉じる
5. TELNET 接続準備完了直後の Windows Telnet ユーティリティ。
 - Telnet 制御の制限 1: Telnet 制御用途に対して、連続するネットワークペイロードが 50 バイト未満とされています。
 - Telnet 制御の制限 2: Telnet 制御に対して、1 つの完全な RS232 コマンドに 26 バイト未満とされています。
 - Telnet 制御の制限 3: 次の RS232 コマンドの最小遅延は 200 (ms) を超える必要があります。

追加情報

対応解像度

タイミング表

信号タイプ	解像度	フレームレート (Hz)	VGA	HDMI1 / HDMI2	DVI	HDBaseT
PC	640x480	60	✓	✓	✓	✓
	640x480	72	✓	✓	✓	✓
	640x480	75	✓	✓	✓	✓
	640x480	85	✓	✓	✓	✓
	720x400	60	✓	✓	✓	✓
	720x400	85	✓			
	800x600	60	✓	✓	✓	✓
	800x600	72	✓	✓	✓	✓
	800x600	75	✓	✓	✓	✓
	800x600	85	✓	✓	✓	✓
	848x480	50			✓	✓
	848x480	60			✓	✓
	848x480	75			✓	✓
	848x480	85			✓	✓
	1024x768	60	✓	✓	✓	✓
	1024x768	75	✓	✓	✓	✓
	1024x768	85	✓	✓	✓	✓
	1024x768	120	✓	✓	✓	✓
	1152x720	50			✓	✓
	1152x720	60			✓	✓
	1152x720	75			✓	✓
	1152x720	85			✓	✓
	1152x864	60	✓	✓	✓	✓
	1152x864	70	✓	✓	✓	✓
	1152x864	75	✓	✓	✓	✓
	1152x864	85	✓	✓	✓	✓
	1280x720	50			✓	✓
	1280x720	60	✓	✓	✓	✓
	1280x720	75	✓	✓	✓	✓
	1280x720	85	✓	✓	✓	✓
	1280x720	120	✓	✓	✓	✓
	1280x768	60	✓	✓	✓	✓
	1280x768	75	✓	✓	✓	✓
	1280x768	85	✓	✓	✓	✓
	1280x800	50	✓	✓	✓	✓
	1280x800	60	✓	✓	✓	✓
	1280x800	75	✓	✓	✓	✓
	1280x800	85	✓	✓	✓	✓
	1280x960	50			✓	✓
	1280x960	60	✓	✓	✓	✓
	1280x960	75	✓	✓	✓	✓
	1280x960	85	✓	✓	✓	✓
1280x1024	50			✓	✓	
1280x1024	60	✓	✓	✓	✓	
1280x1024	75	✓	✓	✓	✓	
1280x1024	85	✓	✓	✓	✓	
1360x768	50			✓	✓	
1360x768	60			✓	✓	

追加情報

信号タイプ	解像度	フレームレート (Hz)	VGA	HDMI1 / HDMI2	DVI	HDBaseT
	1360x768	75		V	V	V
	1360x768	85		V	V	V
	1366x768	60	V	V	V	V
	1400x1050	50		V	V	V
	1400x1050	60		V	V	V
	1400x1050	75	V	V	V	V
	1440x900	60	V	V	V	V
	1440x900	75		V	V	V
	1600x900	60		V	V	V
	1600x1200	50		V	V	V
	1600x1200	60	V	V	V	V
	1680x1050	60	V	V	V	V
	1920X1080	50		V	V	V
	1920X1080	60	V	V	V	V
	1920X1200RB	60	V	V	V	V
	1920X1200RB	50	V	V	V	V
SDTV	480i	60	V	V	V	V
	576i	50	V	V	V	V
EDTV	480p	60	V	V	V	V
	576p	50	V	V	V	V
HDTV	1080i	25	V	V	V	V
	1080i	29	V	V	V	V
	1080i	30	V	V	V	V
	720p	50	V	V	V	V
	720p	59	V	V	V	V
	720p	60	V	V	V	V
	1080p	23	V	V	V	V
	1080p	24	V	V	V	V
	1080p	25	V	V	V	V
	1080p	29	V	V	V	V
	1080p	30	V	V	V	V
	1080p	50	V	V	V	V
	1080p	59	V	V	V	V
1080p	60	V	V	V	V	
必須 3D	フレームパッキング 1080p	24		V	V	V
	フレームパッキング 720p	50		V	V	V
	フレームパッキング 720p	60		V	V	V
	横並び1080i	50		V	V	V
	横並び1080i	60		V	V	V
	最上部と最下部 720p	50		V	V	V
	最上部と最下部 720p	60		V	V	V
フレーム順次 3D	1024x768	120		V	V	V
	1280x720	120		V	V	V
	1920X1200RB	60		V	V	V

注: 「RB」は「レデュースドブランキング」を意味します。

追加情報

EDID 表

WUXGA / VGA		
確立されたタイミング:	標準タイミング:	詳細タイミング:
720 x 400 @ 88 Hz	1440 x 900 @ 75 Hz	1920 x 1080 @ 60 Hz
640 x 480 @ 60 Hz	1280 x 800 @ 75 Hz	1920 x 1200 @ 60 Hz
640 x 480 @ 67 Hz	1280 x 1024 @ 60 Hz	
640 x 480 @ 72 Hz	1360 x 765 @ 60 Hz	
640 x 480 @ 75 Hz	1440 x 900 @ 60 Hz	
800 x 600 @ 56 Hz	1400 x 1050 @ 60 Hz	
800 x 600 @ 60 Hz	1600 x 1200 @ 60 Hz	
800 x 600 @ 72 Hz	1680 x 1050 @ 60 Hz	
800 x 600 @ 75 Hz		
832 x 624 @ 75 Hz		
1024 x 768 @ 60 Hz		
1024 x 768 @ 70 Hz		
1024 x 768 @ 75 Hz		
1280 x 1024 @ 75 Hz		
1152 x 870 @ 75 Hz		

WUXGA / DVI-D		
確立されたタイミング:	標準タイミング:	詳細タイミング:
720 x 400 @ 70 Hz	1024 x 168 @ 120 Hz	1360 x 768 @ 60 Hz
720 x 400 @ 88 Hz	1280 x 800 @ 75 Hz	1366 x 768 @ 60 Hz
640 x 480 @ 60 Hz	1280 x 1024 @ 60 Hz	1920 x 540 @ 60 Hz
640 x 480 @ 67 Hz	1360 x 765 @ 60 Hz	720 x 480 @ 60 Hz
640 x 480 @ 72 Hz	1440 x 900 @ 60 Hz	1920 x 540 @ 50Hz
640 x 480 @ 75 Hz	1400 x 1050 @ 60 Hz	
800 x 600 @ 56 Hz	1600 x 1200 @ 60 Hz	
800 x 600 @ 60 Hz	1680 x 1050 @ 60 Hz	
800 x 600 @ 72 Hz		
800 x 600 @ 75 Hz		
832 x 624 @ 75 Hz		
1024 x 768 @ 60 Hz		
1024 x 768 @ 70 Hz		
1024 x 768 @ 75 Hz		
1280 x 1024 @ 75 Hz		
1152 x 870 @ 75 Hz		

追加情報

イメージサイズと投射距離

プラットフォーム			WUXGA (16:10)										
DMD			0.67インチ										
プロジェクションレンズ			A16	A01		A06		A03		A13		A15	
投影比			0.361 (120 インチ)	0.95-1.22		1.22-1.52		1.52-2.92		2.90-5.50		0.75-0.95	
ズーム比			N/A	1.28X		1.25X		1.9X		1.9X		1.26X	
投影距離			0.96- 3.01m	1.01-13.33m		1.29-16.58m		1.61-31.70m		3.18-57.86m		0.79-10.38m	
投影スクリーンサイズ			投影距離 (m)										
投影比			0.361 (120")	0.95	1.22	1.22	1.52	1.52	2.92	2.90	5.50	0.75	0.95
対角 (インチ)	高さ (m)	幅 (m)	(m)	最小 (m)	最大 (m)	最小 (m)	最大 (m)	最小 (m)	最大 (m)	最小 (m)	最大 (m)	最小 (m)	最大 (m)
50	0.67	1.08	-	1.01	1.31	1.29	1.62	1.61	3.12	3.18	5.89	0.79	1.01
60	0.81	1.29	-	1.22	1.57	1.56	1.95	1.94	3.76	3.78	7.05	0.96	1.22
70	0.94	1.51	-	1.43	1.84	1.82	2.29	2.27	4.39	4.39	8.20	1.12	1.43
80	1.08	1.72	-	1.63	2.11	2.09	2.62	2.60	5.03	5.00	9.36	1.28	1.64
90	1.21	1.94	-	1.84	2.38	2.35	2.95	2.94	5.66	5.61	10.51	1.45	1.85
100	1.35	2.15	-	2.05	2.64	2.62	3.28	3.27	6.30	6.21	11.67	1.61	2.05
110	1.48	2.37	-	2.26	2.91	2.89	3.62	3.60	6.93	6.82	12.82	1.78	2.26
120	1.62	2.58	0.96	2.47	3.18	3.15	3.95	3.94	7.57	7.43	13.98	1.94	2.47
130	1.75	2.80	1.04	2.67	3.44	3.42	4.28	4.27	8.20	8.04	15.13	2.10	2.68
140	1.88	3.02	1.11	2.88	3.71	3.69	4.61	4.60	8.84	8.65	16.29	2.27	2.89
150	2.02	3.23	1.18	3.09	3.98	3.95	4.95	4.94	9.47	9.25	17.44	2.43	3.09
160	2.15	3.45	1.26	3.30	4.24	4.22	5.28	5.27	10.11	9.86	18.60	2.60	3.30
170	2.29	3.66	1.33	3.51	4.51	4.48	5.61	5.60	10.74	10.47	19.75	2.76	3.51
180	2.42	3.88	1.40	3.72	4.78	4.75	5.94	5.93	11.38	11.08	20.91	2.92	3.72
190	2.56	4.09	1.48	3.92	5.05	5.02	6.27	6.27	12.01	11.69	22.06	3.09	3.93
200	2.69	4.31	1.55	4.13	5.31	5.28	6.61	6.60	12.65	12.29	23.22	3.25	4.13
250	3.37	5.38	1.91	5.17	6.65	6.61	8.27	8.27	15.82	15.33	28.99	4.07	5.17
300	4.04	6.46	2.28	6.21	7.98	7.95	9.93	9.93	19.00	18.37	34.77	4.89	6.21
350	4.71	7.54	2.65	7.25	9.32	9.28	11.59	11.60	22.17	21.41	40.54	5.71	7.26
400	5.38	8.62	3.01	8.29	10.66	10.61	13.25	13.26	25.35	24.45	46.31	6.53	8.30
450	6.06	9.69	-	9.33	11.99	11.94	14.92	14.93	28.52	27.49	52.09	7.35	9.34
500	6.73	10.77	-	10.37	13.33	13.27	16.58	16.59	31.70	30.53	57.86	8.17	10.38

電動レンズシフトの範囲

スクリーンサイズに基づき、水平シフト範囲は最大 ±15% で、垂直シフト範囲は最大 50% です。

プロジェクションレンズ	H	V	▲H	▲V
A01、A03、A13	15%	50%	-	-
A06	15%	50%	10%	40%
A15	15%	50%	1%	25%

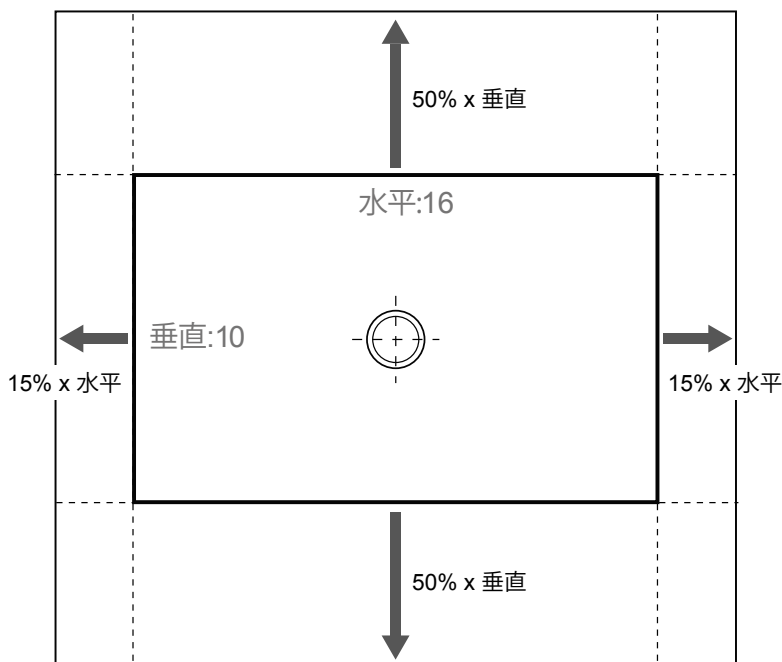
追加情報

プロジェクションレンズ: A01 / A03 / A13

□ 投射される画像

映像垂直位置: 投影画像の高さ

映像水平位置: 投影画像の幅

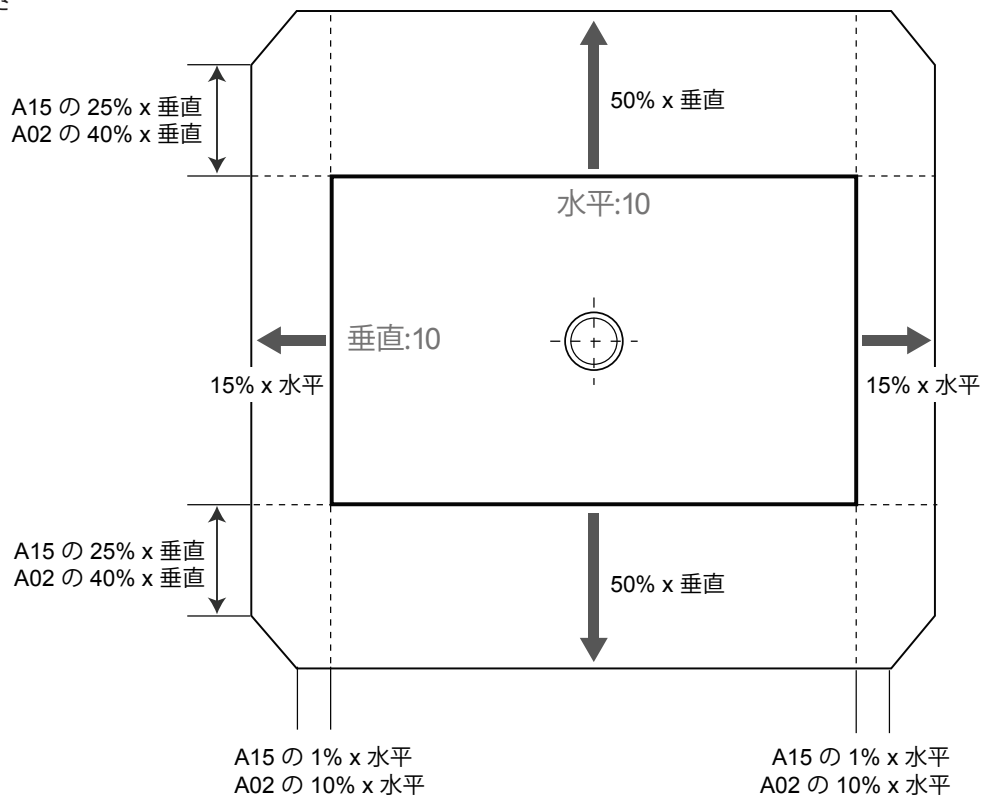


プロジェクションレンズ: A06 / A15

□ 投射される画像

映像垂直位置: 投影画像の高さ

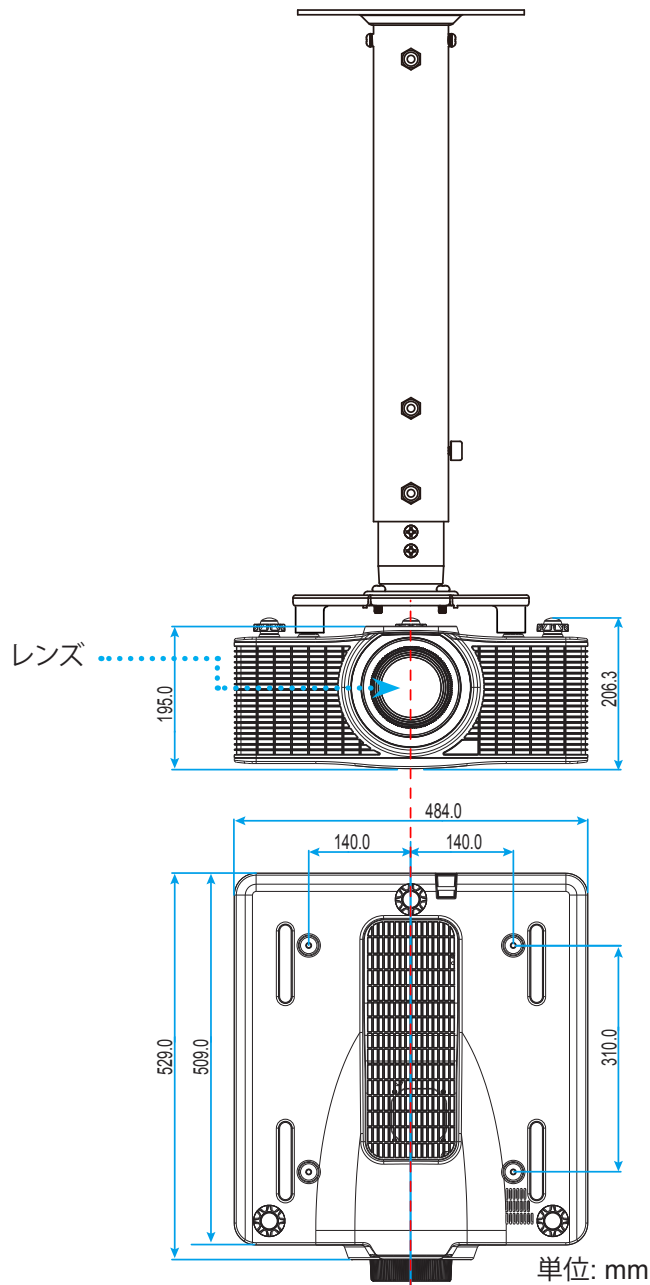
映像水平位置: 投影画像の幅



追加情報

プロジェクターの寸法と天井取り付け

1. プロジェクターの損傷を防ぐため、必ずOptoma の天井用パッケージを使用して取り付けてください。
2. 他社製の天井用キットをご利用になる場合は、プロジェクターを取り付けるネジが以下の仕様に適合していることを必ず確認してください：
 - ネジの種類: M6 - 4 個
 - 最小ネジ長: 20mm



注: プロジェクターを正しく取り付けしていないことが原因で発生した損傷に関しましては、保証は無効になります。予めご了承ください。



警告:

- 他社製の天井用キットをお買い求めの場合、正しいネジサイズをお使いいただくようご注意ください。ネジのサイズは、取り付けプレートの厚みによって変化します。
- 天井とプロジェクター底面と間に、少なくとも 30 mm (3 cm) の距離を置いてください。
- プロジェクターは、熱を発生する装置の近くに配置しないでください。

追加情報

IR リモートコード



キーのボタン	キーの位置	繰り返し形式	アドレス		データ		説明
			バイト 1	バイト 2	バイト 3	バイト 4	
オン (●)	1	F1	32	CD	02	FD	押すとプロジェクターの電源がオンになります。
オフ (●)	2	F1	32	CD	2E	D1	押すとプロジェクターの電源がオフになります。
1	3	F1	32	CD	72	8D	テンキーの [1] として使用します。
2	4	F1	32	CD	73	8C	テンキーの [2] として使用します。
3	5	F1	32	CD	74	8B	テンキーの [3] として使用します。
4	6	F1	32	CD	75	8A	テンキーの [4] として使用します。
5	7	F1	32	CD	77	88	テンキーの [5] として使用します。
6	8	F1	32	CD	78	87	テンキーの [6] として使用します。

追加情報

キーのボタン	キーの位置	繰り返し形式	アドレス		データ		説明
			バイト 1	バイト 2	バイト 3	バイト 4	
7	9	F1	32	CD	79	86	テンキーの [7] として使用します。
8	10	F1	32	CD	80	7F	テンキーの [8] として使用します。
9	11	F1	32	CD	81	7E	テンキーの [9] として使用します。
情報	12	F1	32	CD	82	7D	押すと、ソース画像情報が表示されます。
0	13	F1	32	CD	25	DA	テンキーの [0] として使用します。
モード	14	F1	32	CD	05	FA	押して、プリセットされた表示モードを選択します。
自動	15	F1	32	CD	04	FB	押すと、プロジェクトが自動的に入力ソースと同期します。
入力	16	F1	32	CD	18	E7	押して入力信号を選択します。
上 (▲)	17	F1	32	CD	0F	F0	押して、項目を選択するか、選択に合わせて調整を行います。
左 (◀)	18	F1	32	CD	11	EE	押して、項目を選択するか、選択に合わせて調整を行います。
入力	19	F1	32	CD	14	EB	押して、選択内容を確定します。
右 (▶)	20	F1	32	CD	10	EF	押して、項目を選択するか、選択に合わせて調整を行います。
下 (▼)	21	F1	32	CD	12	ED	押して、項目を選択するか、選択に合わせて調整を行います。
Menu	22	F1	32	CD	0E	F1	押して、プロジェクトのオンスクリーン表示メニューを表示します。
終了	23	F1	32	CD	2A	D5	押して、前のレベルに戻るか、トップレベルにある場合はメニューを終了します。
γ	24	F1	32	CD	2B	D4	押して、中間レベルを調整します。
明るさ	25	F1	32	CD	28	D7	押して、画像の光の量を調整します。
Cont.	26	F1	32	CD	29	D6	押して、暗い部分と明るい部分の差を調整します。
PIP	27	F1	32	CD	43	BC	押して、PIP/PBP 機能のオン/オフを切り替えます。
水平レンズ ◀	28	F1	32	CD	41	BE	押して、画像の水平方向の位置を調整します。
水平レンズ ▶	29	F1	32	CD	42	BD	
フォーカス ▲	30	F1	32	CD	86	79	押して、フォーカスを調整し、画像の鮮明度を改善します。
垂直レンズ ▲	31	F1	32	CD	34	CB	押して、画像の垂直方向の位置を調整します。
垂直レンズ ▼	32	F1	32	CD	32	CD	押して、画像の垂直方向の位置を調整します。
フォーカス ▼	33	F1	32	CD	26	D9	押して、フォーカスを調整し、画像の鮮明度を改善します。
キーストン ◻	34	F1	32	CD	87	78	押して、垂直方向のキーストンを調整します。
キーストン ◻	35	F1	32	CD	51	AE	押して、垂直方向のキーストンを調整します。
ズーム ▲	36	F1	32	CD	52	AD	押して、ズームを調整し、画像を好きなサイズに変更します。
キーストン ◻	37	F1	32	CD	53	AC	押して、水平方向のキーストンを調整します。
キーストン ◻	38	F1	32	CD	54	AB	押して、水平方向のキーストンを調整します。
ズーム ▼	39	F1	32	CD	55	AA	押して、ズームを調整し、画像を好きなサイズに変更します。
シャッター (AV ミュート)	40	F1	32	CD	56	A9	押して、スクリーンピクチャーを表示/非表示にします。
ホットキー	41	F1	32	CD	57	A8	押して、プリセットキーを素早く選択します。
パターン	42	F1	32	CD	58	A7	押して、テストパターンを表示します。

追加情報

故障かなと思ったら

プロジェクターに問題が発生した場合は、以下をご参照ください。それでも問題が解決しない場合、最寄りの販売店またはサービスセンターにお問い合わせください。

画像の問題

- ❓ スクリーンに何も画像が表示されない
 - すべてのケーブルと電源が、[設置方法] の章に記載されている手順どおりに正しく接続されていることを確認してください。
 - コネクタのピンが曲がっていないか、または壊れていないか確認してください。
 - 「シャッター (AV ミュート)」機能がオンに設定されていないか確認してください。
- ❓ 画像のピントが合っていない
 - リモコンのフォーカス ▲ またはフォーカス ▼ ボタンを押して、画像が鮮明になり、文字が読めるようになるまで、フォーカスを調整します。
 - 投射画面がプロジェクタから必要な距離の間に入っていることを確認してください。(55ページ を参照してください)。
- ❓ 16:10 DVD を再生表示しているとき、映像が伸びる
 - アナモフィック DVD または 16:10 DVD を再生しているとき、プロジェクターはプロジェクター側で 16:10 フォーマットで最高の画像を表示します。
 - 4:3フォーマットDVDタイトルを再生している場合、プロジェクターOSDで4:3としてフォーマットを変更してください。
 - お使いのDVDプレーヤーで、16:10 (ワイド) アスペクト比タイプとしてディスプレイフォーマットをセットアップしてください。
- ❓ 画像が小さすぎるまたは大きすぎる
 - リモコンのズーム ▲ またはズーム ▼ ボタンを押して、投影画像のサイズを拡大または縮小することができます。
 - プロジェクターをスクリーンに近づけたり離したりしてください。
 - プロジェクターパネルの [Menu] を押して、[スクリーン > 縦横比] に進みます。別の設定を試みてください。
- ❓ 画像の両側が斜めになる:
 - 可能であれば、プロジェクターがスクリーンの中央下端に来るように配置し直してください。
 - 調整を行うには、OSDから [スクリーン > ジオメトリ補正 > 垂直キーストーン または 水平キーストーン] を使用します。
- ❓ 映像が反転する
 - OSD から [スクリーン > 背面投射 > オン] を選択して、透過スクリーンの背後から投影できるように画像を反転させます。

その他の問題

- ❓ プロジェクターがすべてのコントロールへの反応を停止します
 - 可能であれば、プロジェクタの電源を切って電源コードを抜き、20秒以上待ってから電源を入れ直してください。

リモコンの問題

- ❓ リモコンが作動しない場合、次を確認してください
 - リモコンの操作角度が、プロジェクターの IR レシーバーから (水平および垂直方向) に $\pm 30^\circ$ 以上ずれていないことを確認します。
 - リモコンとプロジェクターのボックスの間に障害物がないことを確認する。プロジェクターから 10 m (32.8 フィート) 以内に移動する。
 - 電池が正しくセットされていることを確認する。
 - 古くなった電池は、新しいものと交換します。

追加情報

警告インジケータ

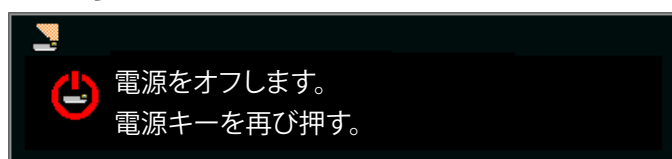
LEDステータスインジケータ

LED ステータスインジケータはプロジェクター背面にあります。各LEDを次に説明しています。

メッセージ	ライト			ステータス			AV ミュート	
	緑色	オレンジ	赤色	緑色	オレンジ	赤色	緑色	オレンジ
スタンバイ状態								
電源オン (ウォーミング)					点滅			
電源オンおよび レーザーダイオ ードオン	点灯			点灯			点灯	
電源オフ (冷却)					点滅			
AV 消音がオフ (画像は表示され ます)	点灯			点灯			点灯	
AV 消音がオン (画像はブランク になります)	点灯			点灯				点灯
プロジェクター が通信を行って います	点灯			点滅			点灯	
ファームウェアの アップグレード				点滅	点滅			
レーザーダイオ ードの寿命が切 れました		点灯						
装置が初期輝度 の 60% 以上を 失います			点滅					
エラー (過熱)						点灯		
エラー (ファン障害)						点滅		

注: 内蔵キーパッドの電源キーは、プロジェクターがスタンバイモードになると点灯します。

- パワーオフ:



追加情報

仕様

光学	説明
解像度	ネイティブ解像度: WUXGA (1920x1200) サポートされる解像度: 最大 WUXGA@60Hz (レデュースドブランキング)
レンズ	電動ズーム/フォーカスおよびフルレンズシフト
半導体レーザー (x 2)	最小 85W @ 3A/Tm 25°C
イメージサイズ (対角)	50~500"
投射距離	55ページ の「画像サイズと投影距離」の表を参照してください。

電気	説明
入力	2 x HDMI 入力 (バージョン 1.4) (ロックネジ付き) 1 x DVI-D (デジタル信号のみをサポートします) 1 x VGA 入力 (D-Sub 15 ピン) (コンピュータ入力またはコンポーネントを) 1 x HDBaseT 1 x 3D 同期入力
出力	1 x VGA 出力 (モニターを経由する VGA ループをサポートします) (モニター出力) 1 x 3D 同期出力
制御ポート	1 x RS232 (D-sub 9 ピン) (PC 制御) 1 x 有線入力 (3.5 mm フォンジャック) (リモコン入力) 1 x USB タイプ A (USB 電源出力のみ) 1 x ミニ USB (FW アップグレード用) (サービス) 1 x RJ45 (LAN) 2 x IR レシーバー (前面および上面)
電力要件	AC 100V~ 240V、50/60Hz
入力電流	7.0A

機械	説明
取り付け方向	机上、天井取り付け、ポートレート
寸法	484 (幅) x 509 (奥行) x 185 (高さ) mm(レンズ、エレベータを除く)
重さ	正味重量 17.3 kg (レンズを除く)
環境条件	動作: 5 ~ 40°C、相対湿度 10 ~ 85%、結露なし

注: 仕様はすべて予告なしで変更されることがあります。

Optoma 社グローバルオフィス

サービスやサポートにつきましては、現地オフィスにお問い合わせください。

アメリカ

Optoma Technology, Inc.
47697 Westinghouse Drive.
Fremont, Ca 94539

☎ 888-289-6786
📠 510-897-8601
✉ services@optoma.com

カナダ

Optoma Technology, Inc.
47697 Westinghouse Drive.
Fremont, Ca 94539

☎ 888-289-6786
📠 510-897-8601
✉ services@optoma.com

南米

Optoma Technology, Inc.
47697 Westinghouse Drive.
Fremont, Ca 94539

☎ 888-289-6786
📠 510-897-8601
✉ services@optoma.com

ヨーロッパ

Unit 1, Network 41, Bourne End Mills
Hemel Hempstead, Herts,
HP1 2UJ, United Kingdom
www.optoma.eu
カスタマーサービス TEL :
+44 (0)1923 691865

☎ +44 (0) 1923 691 800
📠 +44 (0) 1923 691 888
✉ service@tsc-europe.com

Benelux BV

Randstad 22-123
1316 BW Almere
The Netherlands
www.optoma.nl

☎ +31 (0) 36 820 0252
📠 +31 (0) 36 548 9052

フランス

Bâtiment E
81-83 avenue Edouard Vaillant
92100 Boulogne Billancourt, France

☎ +33 1 41 46 12 20
📠 +33 1 41 46 94 35
✉ savoptoma@optoma.fr

スペイン

C/ José Hierro, 36 Of. 1C
28522 Rivas VaciaMadrid,
Spain

☎ +34 91 499 06 06
📠 +34 91 670 08 32

ドイツ

Wiesenstrasse 21 W
D40549 Düsseldorf,
Germany

☎ +49 (0) 211 506 6670
📠 +49 (0) 211 506 66799
✉ info@optoma.de

スκανジナビア

Lerpeveien 25
3040 Drammen
Norway

☎ +47 32 98 89 90
📠 +47 32 98 89 99
✉ info@optoma.no

PO.BOX 9515
3038 Drammen
Norway

韓国

WOOMI TECH.CO.,LTD.
4F, Minu Bldg.33-14, Kangnam-Ku,
Seoul,135-815, KOREA
korea.optoma.com

☎ +82+2+34430004
📠 +82+2+34430005

日本

東京都足立区綾瀬3-25-18
株式会社オーエス
コンタクトセンター: 0120-380-495

✉ info@os-worldwide.com
www.os-worldwide.com

台湾

12F., No.213, Sec. 3, Beixin Rd.,
Xindian Dist., New Taipei City 231,
Taiwan, R.O.C.
www.optoma.com.tw

☎ +886-2-8911-8600
📠 +886-2-8911-6550
✉ services@optoma.com.tw
asia.optoma.com

香港

Unit A, 27/F Dragon Centre,
79 Wing Hong Street,
Cheung Sha Wan,
Kowloon, Hong Kong

☎ +852-2396-8968
📠 +852-2370-1222
www.optoma.com.hk

中国

5F, No. 1205, Kaixuan Rd.,
Changning District
Shanghai, 200052, China

☎ +86-21-62947376
📠 +86-21-62947375
www.optoma.com.cn

